年間授業計画

高等学校 令和７年度（１年次用） 教科　　国語　　科目 現代の国語

教　科： 国語　　科　目： 現代の国語　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（応用：中林 ）　（ 標準：毛呂 ）　（ 基礎：眞鍋 ）

使用教科書：（『高等学校　現代の国語』　第一学習社　　）

教科　国語　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語についての知識や技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
	スピーチで自分を伝える 【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用し評価を行う。	・指導事項 ・自分について大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・教材…スピーチで自分を伝える ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。	○	○	○	2
	間の感覚（高階秀爾） 【知識及び技能】 ・情報と方法との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章に構成や論理の展開を的確にとらえ、用紙を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・比較の文章を読み、自分の意見や考えを論述する。	・指導事項 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・対比関係を用いながら、日本文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・教材…間の感覚（高階秀爾） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・情報と方法との関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章に構成や論理の展開を的確にとらえ、用紙を把握する方法を学んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・比較の文章を読み、自分の意見や考えを論述できる。	○	○	○	3
	水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。	・指導事項 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・教材…水の東西（山崎正和） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1

1学期	日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎） 【知識及び技能】 ・情報と情報との関係を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章に構成や論理の展開を的確にとらえ、用紙を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体と中小に関する文章を読み、自分の意見や考えを論述する。	・指導事項 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・具体と抽象について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・教材…水の東西（山崎正和） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・情報と情報との関係を整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章に構成や論理の展開を的確にとらえ、用紙を把握する方法を学んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体と中小に関する文章を読み、自分の意見や考えを論述できる。	○	○	○	4
	ものとことば（鈴木孝夫） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理する。	・指導事項 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・言語について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…ものとことば ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理しようとしている。	○	○	○	5
	情報源の明示 **【知識及び技能】** **・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使用する。** **【思考力、判断力、表現力等】** **・目的や意図に応じて、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。** **【学びに向かう力、人間性等】** **引用の目的と方法を、例を踏まえて進んで理解する。**	**・指導項目** **・引用の目的とその効用を理解する。** **・引用の具体的な方法を理解する。** **・引用を適切に活用できるようにする。** **・教材…情報源の明示** **・一人１台端末の活用　等**		**○**		**【知識及び技能】** **・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。** **【思考力、判断力、表現力等】** **・目的や意図に応じて、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。** **【学びに向かう力、人間性等】** **引用の目的と方法を、例を踏まえて進んで理解しようとしている。**	**○**	**○**	**○**	2
	定期考査						○	○		1

2学期	無彩の色（平野啓一郎） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、用紙を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。	・指導事項 ・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・教材…無彩の色（平野啓一郎） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、用紙を把握する方法を学べる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握している。	○	○	○	4
	「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。	・指導事項 ・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「本当の自分」幻想（平野啓一郎） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	「文化」としての科学（池内了） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明する。	・指導事項 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・科学や技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「文化」としての科学（池内了） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明しようとしている。	○	○	○	5

	現代の「世論操作」（林香里） 【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って理解しようとしている。	・指導事項 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・新聞を読み、それに対する自分の意見を他者に伝える。 ・教材…現代の「世論操作」（林香里） ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って理解しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	フェアな競争（内田樹） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝える。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめる。	・指導事項 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…フェアな競争（内田樹） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。	○	○	○	5
３学期	不均等な時間（内山節） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性など】 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとする。	・指導事項 ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・近代における時間について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材 不均等な時間（内山節） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解している。 【学びに向かう力、人間性など】 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。	○	○	○	6

	社会に対する意見文を書く 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に意見文を書く。	指導事項 ・意見文とはどういうものかを理解する。 ・自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。 ・意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。 教材…社会に対する意見文を書く 一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に意見文を書こうとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1 合計 56

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和７年度（１年次用）教科　国語　科目 言語文化

教　科：国語　科　目：言語文化　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（応用：眞鍋　）（標準：柴田　）（基礎：中林　）

使用教科書：（『高等学校　言語文化』　第一学習社　）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語についての知識や技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	古文の学習 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつ。	・指導事項 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・教材‥古文の学習 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。		○	○	2
	児のそら寝 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを味わう。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・教材‥児のそら寝 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを味わおうとしている。	○	○	○	3
	徒然草 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取る。	・指導事項 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として動詞の活用について、文語のきまりを理解する。 ・教材…徒然草 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取ろうとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1

	伊勢物語 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。	・指導事項 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 ・教材…伊勢物語			○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	漢文の学習 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深める。	・指導事項 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・教材　漢文の学習 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。	○	○	○	3
	〔言語活動〕 故事成語の由来と意味を調べる 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめる。	・指導事項 ・課題に応じて調査する。 ・故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　〔言語活動〕 故事成語の由来と意味を調べる ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1

2学期	羅生門（芥川龍之介） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。	・指導事項 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・老婆から見た下人の人物像を考える。 ・教材…羅生門（芥川龍之介） ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	○	○	○	5
	その子二十 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにする。	・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・印象に残った作品を一つ挙げ、それについてなぜ印象に残ったのかを説明する。 ・教材…その子二十 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。	○	○	○	2
	こころの帆 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにする。	・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・俳句を作る。 ・教材…こころの帆 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。	○	○	○	2
	定期考査						○	○		1
3学期	土佐日記 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりする。	・指導事項 ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 ・女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として助動詞について理解する。 ・教材…土佐日記 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。	○	○	○	8
	唐詩の世界 **【知識及び技能】** **・表現の技法とその効果について理解する。** **【思考力、判断力、表現力等】** **・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。** **【学びに向かう力、人間性等】** **・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明する。**	**・指導事項** **・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。** **・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。** **・作品の歴史的・文化的背景を理解する。** **・漢詩のきまりを理解する。** **・教材　唐詩の世界** **・一人１台端末の活用　等**			**○**	**【知識及び技能】** **・表現の技法とその効果について理解している。** **【思考力、判断力、表現力等】** **・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。** **【学びに向かう力、人間性等】** **・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。**	**○**	**○**	**○**	**4**
	定期考査						○	○		1 合計 56

年間授業計画

都立板橋有徳　　高等学校 令和6年度（１年次用） 教科　地理歴史　　科目 歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（1組：吉村悠玖）　（2組：堀内沙和子）（3組：吉村悠玖）　（4組：吉村悠玖）　（5組：吉村悠玖）

使用教科書：（ わたしたちの歴史総合 日本から世界へ ノート　山川出版社　・　山川歴史総合用語解説　山川出版社
歴史総合　近代から現代へ　山川出版社　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】 知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
第１章　結びつく世界 ①１６世紀にはアジア各地で大帝国が成立し繁栄していたこと、同時期にヨーロッパ各国がアジアに進出し、世界的な規模で経済が発展していったことを理解する。 ②琉球とアイヌの役割に留意して、江戸時代の日本の商品生産や対外貿易の特徴を理解する。 ③ヨーロッパで成立した主権国家と主権国家体制について、その特徴を理解する。 ④ヨーロッパ人の海外進出について理解し、その影響について考察する。	①アジア諸地域の繁栄と日本 ②ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	【知識・技能】 １アジア諸地域の繁栄と日本について理解している。 ２ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出について理解している。 【思考・判断・表現】 １アジア諸地域の繁栄と日本の特徴を考察し、表現している。 ２ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出の特徴を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 １アジア諸地域の繁栄と日本について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ２ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
第２章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ①産業革命によるヨーロッパ各国内の変化や、世界的な影響について考察する。 ②アメリカ独立革命とその理念を理解し、その後の世界にあたえた影響を考察する。 ③フランス革命の経過と革命の成果を理解し、その後の世界にあたえた影響を考察する。 ④ナショナリズムの特徴とイタリア・ドイツの国家統一への動き、フランスの二月革命後の国内状況、イギリスの諸改革などを理解する。 ⑤資本主義の対抗理論として社会主義がうみ出された背景について考察する。 ⑥イギリスとフランスの国内状況をとらえ、対外政策の概要を理解する。 ⑦独立達成後のアメリカ合衆国が、領土を西方に拡大していった過程を理解する。 ⑧合衆国史上最大の内戦である南北戦争について、その原因と経過を考察する。 ⑨アヘン戦争・第２次アヘン戦争によって、イギリスをはじめとした欧米列強に、中国が半植民地化されていく過程を理解する。 ⑩欧米諸国の通商要求に対する江戸幕府の対応を理解し、開国にいたる経緯を理解する。	①ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ②アメリカ独立革命とフランス革命 ③１９世紀前半のヨーロッパ ④１９世紀後半のヨーロッパ ⑤１９世紀のアメリカ大陸 ⑥中国の開港と日本の開国	【知識・技能】 １ヨーロッパ経済の動向と産業革命について理解している。 ２アメリカ独立革命とフランス革命について理解している。 ３１９世紀前半のヨーロッパについて理解している。 ４１９世紀後半のヨーロッパについて理解している。 ５１９世紀のアメリカ大陸について理解している。 ６中国の開港と日本の開国について理解している。 【思考・判断・表現】 １ヨーロッパ経済の動向と産業革命の特徴を考察し、表現している。 ２アメリカ独立革命とフランス革命の特徴を考察し、表現している。 ３１９世紀前半のヨーロッパの特徴を考察し、表現している。 ４１９世紀後半のヨーロッパの特徴を考察し、表現している。 ５１９世紀のアメリカ大陸の特徴を考察し、表現している。 ６中国の開港と日本の開国の特徴を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 １ヨーロッパ経済の動向と産業革命について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ２アメリカ独立革命とフランス革命について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ３１９世紀前半のヨーロッパについて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ４１９世紀後半のヨーロッパについて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ５１９世紀のアメリカ大陸について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
第３章　明治維新と日本の立憲体制 ①大政奉還のねらいをふまえ、明治新政府の成立や戊辰戦争の展開を理解する。 ②五箇条の誓文に示された新政府の国家方針を理解し、版籍奉還と廃藩置県の歴史的意義を考察する。 ③四民平等に向けた諸改革の内容を理解し、同じ義務をもつ「国民」がどのように形成されたかを考察する。 ④清を中心とした国際秩序を理解し、日本が清・朝鮮と取り結んだ外交関係を年表にして考察する。 ⑤琉球処分や北方開発などに留意しながら、日本が領土を画定させていった経緯を理解する。 ⑥自由民権運動がおこった背景および運動の高まりや担い手の広がりについて理解し、それに対する政府の対応を理解する。 ⑦大日本帝国憲法の成立過程をふまえ、憲法の内容を理解し、その特徴を考察する。	①明治維新と諸改革 ②明治初期の対外関係 ③自由民権運動と立憲体制	【知識・技能】 １明治維新と諸改革について理解している。 ２明治初期の対外関係について理解している。 ３自由民権運動と立憲体制について理解している。 【思考・判断・表現】 １明治維新と諸改革の特徴を考察し、表現している。 ２明治初期の対外関係の特徴を考察し、表現している。 ３自由民権運動と立憲体制の特徴を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 １明治維新と諸改革について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ２明治初期の対外関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ３自由民権運動と立憲体制について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
第４章　帝国主義の展開とアジア ①条約改正が成功した国際的な背景を理解し、その交渉経過や、締結された条約内容について考察する。 ②日清戦争がおこった背景を理解し、戦争の推移・結果や、その後の日本と清・朝鮮に対する影響について考察する。 ③帝国主義とは、どのような状況で、どのようにして生まれたのか、その後の世界にどのような影響を与えたかを理解する。 ④後発国であるドイツが工業化などにより急速にその力を強め、イギリスやフランスをおびやかす存在となっていった過程を考察する。 ⑤アメリカ合衆国が工業力で世界第１位となり、帝国主義的な政策によって領土を拡大していった過程を考察する。 ⑥アフリカ大陸が、ヨーロッパ列強によって急速に植民地化されていく過程を理解する。 ⑦太平洋地域が、欧米列強によって分割されていく過程を考察する。 ⑧列強による中国分割や東アジア情勢の変化を年表にまとめ、日露戦争がおこった理由を理解する。 ⑨日露戦争後の国際関係の変化に留意して、日本が韓国植民地化と満州支配を進めた経緯を考察する。	①条約改正と日清戦争 ②帝国主義と列強の展開 ③世界分割と列強の対立 ④日露戦争とその影響	【知識・技能】 １条約改正と日清戦争について理解している。 ２帝国主義と列強の展開について理解している。 ３世界分割と列強の対立について理解している。 ４日露戦争とその影響について理解している。 【思考・判断・表現】 １条約改正と日清戦争の特徴を考察し、表現している。 ２帝国主義と列強の展開の特徴を考察し、表現している。 ３世界分割と列強の対立の特徴を考察し、表現している。 ４日露戦争とその影響の特徴を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】１条約改正と日清戦争について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ２帝国主義と列強の展開について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ３世界分割と列強の対立について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ４日露戦争とその影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

①国際関係の緊密化 ②アメリカ合衆国とソ連の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ⑤生活様式の変化	①国際秩序の変化や大衆化への問い ②大量生産・大量消費社会	①国際関係の緊密化に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ②アメリカ合衆国とソ連の台頭に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ③第一次世界大戦後の植民地独立に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑤第一次世界大戦後に進んだ生活様式の変化に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
①統合・分化の観点から、これまでの学習を振り返り、クルド人に関する諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、国際秩序の変化や大衆化と私たちで表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。 ②平等・格差の観点から、これまでの学習を振り返り、女性の諸権利獲得に関する諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、国際秩序の変化や大衆化と私たちで表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。	①いまの私たちにつながる課題 ②統合・分化／平等・格差	①統合・分化の観点から、クルド人に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解できている。 ②平等・格差の観点から、女性の諸権利獲得運動にみられる格差と平等の実現に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解できている。	○	○	○	4
①冷戦と国際関係 ②人と資本の移動 ③高度情報通信 ④食料と人口 ⑤資源･エネルギーと地球環境 ⑥感染症 ⑦多様な人々の共存	①第二次世界大戦後におけるアジア諸地域の独立過程を理解する。 ②アジア・アフリカ諸国の独立過程で、生じた問題について考察し、理解する。 ③アジア・アフリカ諸国が第三世界として連帯した背景について考察し、理解する。	①冷戦と国際関係に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ②人と資本の移動に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ③高度情報通信に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ④食料と人口に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑤資源・エネルギーと地球環境に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑥感染症に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑦多様な人々の共存のあり方に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。	○	○	○	4
・55年体制崩壊後の政界再編の概要について理解できている。 ・バブル景気崩壊後の不況によって生じた諸問題について理解できている。 ・現代の日本が抱える諸課題を分野ごとに具体的な事例とあわせて理解できている。	①冷戦終結後の世界で地域連合の役割が大きくなったことを理解する。 ②現代の地域連合の特徴について考察し、理解する。 ③現代世界の諸課題と解決に向けての方策について考察し、理解する。 ④多文化主義や少数者の権利確保の理念を理解する。	①現代社会の諸課題の解決に向けて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ②55年体制崩壊後の日本の政治の大まかな動きをバブル景気崩壊後の経済状況と関連付けながら理解する。 ③現在の日本が抱える諸課題を知り、可能であれば歴史的経緯もふまえて問題解決の方法を考える。	○	○	○	4
定期考査						1
①対立・協調の観点から、平和や国際理解のために尽くした人々の行動などに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現できている。 ②開発・保全の観点から、地球環境問題に対する現代の取組みに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現できている。	①対立・協調 ②開発・保全	①対立・協調の観点から、これまでの学習を振り返り、平和や国際理解のために懸命に尽くした人々に関する諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、グローバル化と私たちで表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。 ②開発・保全の観点から、これまでの学習を振り返り、地球環境問題に関する諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、グローバル化と私たちで表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。	○	○	○	6
定期考査						1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和７年度（１年次用）教科　数学　科目 数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 年次　1 組～　5 組

教科担当者：（1～5組応用：佐藤）（1～５組標準齊藤）（1～4組基礎：黒澤）

使用教科書：（ 新編　数学Ⅰ　（数研出版）　　）

教科　数学　　の目標：　数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 式の計算 【知識及び技能】 ・指数法則や展開・因数分解の公式を理解させる。 ・公式や置き換えを利用した式変形を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・置き換えや，降べきの順に整理することを通して，簡易化したり見通しをもたせたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい方法がないか，粘り強く考える態度を養う。	第１章　数と式 第１節　式の計算 １．多項式の加法と減法 ２．多項式の情報 ３．因数分解	【知識・技能】 ・多項式の加法，減法の計算ができる。 ・指数法則を理解し，多項式の乗法の計算ができる。 ・展開，因数分解の公式を利用できる。 ・因数分解を行うのに，文字のおき換えを利用することができる。 【思考・判断・表現】 ・式を１つの文字におき換えることによって，式の計算を簡略化することができる。 ・複雑な式についても，項を組み合わせる，降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで，因数分解をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の変形，整理などの工夫において，よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	8
	B 実数 【知識及び技能】 ・数の分類や体系性について理解させる。 ・循環小数の表記，絶対値記号表示を理解させる。 ・平方根の意味・性質を理解させ，根号を含む式の計算を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実数の大小関係や絶対値を数直線と関連づけて考察させる。 ・第１節で学習したことの活用を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中学での既習事項との関連や発展性に気付かせる。 C １次不等式 【知識及び技能】 ・不等号の意味や，不等式における解の意味を理解させる。 ・不等式の解法を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・A<B<C を既習の式の形で捉えさせる。 ・身近な問題を1次不等式の問題に帰着させて考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常的な事象に1次不等式が活用できることに関心をもたせる。	第１章　数と式 第２節　実数 ４．実数 ５．根号を含む式の計算 ６．不等式の性質 ７．１次不等式	【知識・技能】 ・分数を循環小数で表すことができる。 ・絶対値の意味と記号表示を理解している。 ・根号を含む式の加法，減法，乗法の計算ができる。また，分母の有理化ができる。 【思考・判断・表現】 ・実数を数直線上の点の座標として捉えられる。 ・第１節で学習した内容を用いて，よりよい計算方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・循環小数が分数で表現できることに関心をもち，考察しようとする。 ・今まで学習してきた数の体系について整理し，考察しようとする。 【知識・技能】 ・不等号の意味を理解し，数量の大小関係を式で表すことができる。 ・不等式における解の意味を理解し，1次不等式を解くことができる。 ・絶対値の意味から，絶対値を含む方程式，不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・A<B<C を A<B かつ B<C として捉えることができる。 ・身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ，問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・不等式における解の意味について，等式における解と比較して，考察しようとする。 ・日常的な事象に1次不等式が活用できることに関心をもち，考察しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

1学期	C １次不等式 【知識及び技能】 ・不等号の意味や，不等式における解の意味を理解させる。 ・不等式の解法を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・A<B<C を既習の式の形で捉えさせる。 ・身近な問題を1次不等式の問題に帰着させて考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常的な事象に1次不等式が活用できることに関心をもたせる。	第１章　数と式 第３節　１次不等式 ８．絶対値を含む方程式・ 不等式	【知識・技能】 ・絶対値の意味から，絶対値を含む方程式，不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・A<B<C を A<B かつ B<C として捉えることができる。 ・身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ，問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・不等式における解の意味について，等式における解と比較して，考察しようとする。 ・日常的な事象に1次不等式が活用できることに関心をもち，考察しようとする。	○	○	○	7
	D 集合と命題 【知識及び技能】 ・命題の真偽，反例の意味を理解させる。 ・命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・命題の真偽を包含関係や数直線を用いて考察させる。 ・命題に応じてよりよい証明法を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・命題とその対偶の真偽について，日常事象を取り入れながら関心をもたせる。 ・様々なアプローチから，粘り強く問題に取り組む姿勢を養う。	第２章　集合と命題 １．集合 ２．命題と条件 ３．命題とその逆・対偶・裏 ４．命題と証明	【知識・技能】 ・命題の真偽，反例の意味を理解し，真偽を判定することができる。 ・命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解し，真偽を判定することができる。 【思考・判断・表現】 ・命題の真偽を，集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・命題とその対偶の真偽の関係について考察しようとする。 ・直接証明法では難しい命題も，対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち，実際に証明しようとする。	○	○	○	9
	【知識・技能】 ・関数の意味や表記を理解させる。 ・平方完成を用いて，グラフの軸と頂点を調べる方法を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・２つの変量の関係を関係式で表現させる。 ・放物線の平行移動を，頂点に着目して考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・関数の性質をもつ日常事象から，興味をもたせる。	第３章　２次関数 第１節　２次関数とグラフ １．関数とグラフ ２．２次関数のグラフ	【知識・技能】 ・与えられた条件から1次関数を決定することができる。 ・平方完成を利用して，2次関数 y=〖ax〗^2+bx+c のグラフの軸と頂点を調べ，グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 ・2つの変量の関係を関数式で表現できる。 ・放物線の平行移動を，頂点の移動に着目して，考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活に見られる関数の具体例を見つけて考察しようとする。 ・放物線のもつ性質に興味・関心を示し，自ら調べようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

2学期	【知識・技能】 ・２次関数の最大値，最小値を求める方法を理解させる。 ・連立３元１次方程式の解き方を身に付けさせ，与えられた条件から２次関数の式を決定させる方法を理解させる。 【思考・判断・表現】 ・グラフの性質から，値の変化を考察させる。 ・グラフを用いて，２次関数の最大，最小を考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常事象に対して，２次関数の最大・最小の考え方を活用できる有用性に気が付かせる。	第３章　２次関数 第２節　２次関数の値の変化 ３．２次関数の最大・最小 ４．２次関数の決定	【知識・技能】 ・2次関数をy=〖a(x-p)〗^2+q の形に式変形して，最大値，最小値を求めることができる。 ・2次関数の決定において，与えられた条件を関数の式に表現し，2次関数を決定することができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 ・具体的な事象の最大・最小の問題を，2次関数を用いて表現し，処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活における具体的な事象の考察に，2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。	○	○	○	8
	【知識・技能】 ・２次方程式の解の求め方を身に付けさせる。 ・班別式の符号と，２次方程式の実数解の個数の関係を理解させる。 【思考・判断・表現】 ・２次関数のグラフとｘ軸の共有点の個数と，２次方程式の解の個数の関係性を考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な問題に対し，積極的にグラフをかくなどして粘り強く取り組ませる。 ・日常事象を２次不等式で解決できることに興味をもたせる。	第３章　２次関数 第３節　２次方程式と２次不等式 ５．２次方程式 ６．２次関数のグラフとｘ軸の位置関係 ７．２次不等式	【知識・技能】 ・因数分解，解の公式を用いて，２次方程式の解を求めることができる。 ・2次方程式において，判別式 D=b^2-4ac の符号と実数解の個数の関係を理解している。 ・2次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を，D=b^2-4acの符号から考察することができる。 ・2次式が一定の符号をとるための条件を，グラフと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・２次関数のグラフを積極的にかいて様々な問題を解決しようとする。 ・身近な問題を2次不等式で解決しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
	【知識・技能】 ・正弦，余弦，正接の定義を理解させ，求め方を身に付けさせる。 ・三角比の相互関係の利用の仕方や，三角比の値からθを求める方法を理解させる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を三角比の問題に帰着させて考察させる。 ・三角比の定義から辺の長さを考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象を通して，三角比の有用性を認識させる。 ・積極的に図をかかせ，考えようとさせる。	第４章　図形と計量 第１節　三角比 １．三角比 ２．三角比の相互関係 ３．三角比の拡張	【知識・技能】 ・直角三角形において，正弦，余弦，正接が求められる。 ・三角比の相互関係を利用して，1つの値から残りの値が求められる。 ・三角比の値からθを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 ・三角比の定義から，辺の長さを求める関係式を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。 ・三角比が与えられたときのθを求める際に，図を積極的に利用しようとする。	○	○	○	10
	【知識・技能】 ・正弦定理や余弦定理の使い方を理解させる。 ・三角形の辺の長さや外接円の半径，面積の求め方を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・与えられた条件から，どの定理が有効か考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と関連のある問題を通して，三角比や定理の有用性に気が付かせる。	第４章　図形と計量 第２節　三角形への応用 ４．正弦定理 ５．余弦定理 ６．正弦定理と余弦定理の応用 ７．三角形の面積 ８．空間図形への応用	【知識・技能】 ・正弦定理や余弦定理を用いて,三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。 ・三角比を用いた三角形の面積を求める公式を理解している。 【思考・判断・表現】 ・適当な三角形に着目して，有効な定理を判断することができる。 ・三角形の面積を，決定条件である2辺とその間の角または3辺から求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

3学期	【知識・技能】 ・代表値や，相関係数の定義や意味を理解させ，求め方を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・代表値や散布図の定義や意味を踏まえて，データの散らばりを考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・代表値の有用性を認識させる。 ・データの懐疑性を示し，統計に興味を持たせる。	第５章　データの分析 １．データの整理 ２．データの代表値 ３．データの散らばりと四分位数 ４．分散と標準偏差 ５．２つの変量の間の関係 ６．仮説検定の考え方	【知識・技能】 ・平均値や最頻値，中央値，四分位数，分散，標準偏差，相関係数の定義や意味を理解し，それらを求めることができる。 ・相関係数は散布図の特徴を数値化したものであること，数値化して扱うことのよさを理解している。 【思考・判断・表現】 ・代表値からデータの散らばりを判断することができる。 ・データの相関について，散布図や相関係数を利用してデータの相関をとらえて説明することができる。 ・仮説検定の考え方を理解し，具体的な事象に当てはめて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。 ・身近な事柄において，仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	○	○	○	23
	定期考査			○	○	○	1
							合計 105

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度(第１年次)　教科　数学　科目 数学A

教　科：　数学　科　目：　数学A　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 年次　1 組～　5 組

教科担当者：（１・２組：佐藤・北川・早崎）（３・４組：佐藤・北川・早崎）（５組：佐藤・北川）

使用教科書：（ 新編　数学A　数研出版 ）

教科　数学　の目標：数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学A　の目標：図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 集合の要素の個数に関する基本的な関係を理解し、要素の個数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察し、計算することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 集合の要素の個数を図や補集合を用いて考えようとしている。	第１章 場合の数と確率 第１節 場合の数 1 集合の要素の個数	【知識・技能】 ○和集合や補集合について理解し，その要素の個数を求めることができる。 ○和集合，補集合の要素の個数の公式を利用できる。 ○ベン図を利用することで，和集合や補集合の要素の個数を求めることができる。 ○具体的な日常の事象に対して，集合を考えることで，人数などを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○ベン図を利用して集合を図示することで，集合の要素の個数を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○集合を考えることで，日常的な事柄などを，集合の要素の個数として数学的に数えようとしている。 ○表を作って集合の要素の個数を求める方法に興味を示し，それを利用しようとしている。	○	○	○	2
	１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・和の法則や積の法則を利用し、場合の数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 場合の数で学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	第１章 場合の数と確率 第１節 場合の数 2 場合の数	【知識・技能】 ○樹形図を用いて，場合の数をもれなくかつ重複なく数えることができる。 ○和の法則，積の法則の利用場面を理解し，事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 ○自然数の正の約数の個数を数える方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○道順の数え方に興味を示し，樹形図，和の法則や対称性などによる場合の数の数え方に関心をもち、それを利用しようとしている。 ○自然数の正の約数の個数を数えること，式の展開を利用して約数が列挙できることに興味をもち、考えようとしている。	○	○	○	4

1学期	1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 円順列及び重複順列について図をかくなどしながら，原理を理解して立式し，場合の数の求め方を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 円順列及び重複順列について図をかくなどしながら，立式して場合の数の求め方を考えようとしている。	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 3 順列	【知識・技能】 ○順列の総数，階乗を記号で表し，それを活用できる。 ○順列，円順列，重複順列の公式を理解し，利用することができる。 ○順列，円順列に条件が付く場合に，条件の処理の仕方を理解している。 【思考・判断・表現】 ○条件が付く順列，円順列を，見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○既知の順列や積の法則をもとにして，円順列，重複順列を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○既知である積の法則から順列の総数を求める式を導こうとする。 ○色の塗り分けの方法を数えるのに，順列の考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ○順列，円順列，重複順列の違いに興味・関心をもつ。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 組合せの総数nCrを理解し，計算することができる。また，順列や組合せの考えを用いて，同じものを含む順列の求め方を理解し，総数を計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 選び方の違いによって，その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 順列や組合せの考え方を用いて，選び方の総数が一致する場合の法則性や同じものを含む順列の総数の求め方を考えようとしている。	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 4 組合せ	【知識・技能】 ○組合せの総数を記号で表し，それを活用できる。また，組合せの公式を理解し，利用することができる。 ○組合せの条件が付く場合に，条件の処理の仕方を理解している。 ○組分けの総数を求めることができる。 ○同じものを含む順列の総数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○既知である順列の総数をもとにして，組合せの総数を考察することができる。 ○条件が付く組合せを，見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○同じものを含む順列を，組合せで考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○順列と組合せの違いに興味・関心をもち、組合せの考え方を利用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求めようとしている。 ○重複組合せについて理解し，その総数を，順列や組合せの考えを適切に用いて求めようとしている。	○	○	○	4
	1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 事象を集合で表したり，事象の確率を求めたりすることができる。 ・ 積事象と和事象の確率について理解している。 ・ 排反事象と確率の加法定理について理解し，それらを用いて確率を求めることができる。 ・ 確率の基本性質や余事象の確率について理解し，和事象の確率や余事象の確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 同様に確からしいことを利用して，事象の確率の考え方を説明することができる。 ・ 互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や，余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。 ・ 余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき，余事象を積極的に活用しようとしている。	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 5 事象と確率	【知識・技能】 ○確率の意味，試行や事象の定義を理解している。 ○試行の結果を事象として表すことができる。 ○確率の定義を理解し，確率の求め方がわかる。 【思考・判断・表現】 ○試行の結果を事象として捉え，事象を集合と結びつけて考察することができる。 ○不確定な事象を，同様に確からしいという概念をもとに，数量的に捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○1個のさいころを繰り返し投げる実験などを通して，統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。	○	○	○	3

	1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 確率の基本性質や余事象の確率について理解し，和事象の確率や余事象の確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や，余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。 ・ 余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき，余事象を積極的に活用しようとしている。	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 6 確率の基本性質	【知識・技能】 ○積事象，和事象の定義を理解している。 ○確率の基本性質を理解し，和事象，余事象の確率の求め方がわかる。 ○確率の計算に集合を活用し，複雑な事象の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○集合の性質を用いて，確率の性質を一般的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○加法定理などを利用して，複雑な事象の確率を意欲的に求めようとする。	○	○	○	4
	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 独立な試行の確率について，具体例を通してその意味を理解し，その確率を求めることができる。 また、 反復試行の確率を理解し，反復試行の確率を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 独立な試行の確率はそれぞれの事象の確率の積に等しいことに着目し，具体例を通して考察することができる。 ・ 反復試行の確率について，組合せの考え方と関連させて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 独立な試行の確率を求めるために，それぞれの事象の確率の積に着目して，そのことを活用しようとしている。 ・ 反復試行の確率について，組合せの考え方と関連付けて考えようとしている。	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 7 独立な試行と確率	【知識・技能】 ○独立な試行の確率を，公式を用いて求めることができる。 ○複雑な独立試行の確率を，公式や加法定理などを用いて求めることができる。 ○反復試行の確率を，公式を用いて求めることができる。 ○複雑な反復試行の確率を，公式や加法定理などを用いて求めることができる。 ○確率の計算に集合を活用し，複雑な事象の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○独立な試行の確率を，具体的な例から直観的に考えることができる。 ○既習の確率の知識を利用して，反復試行の確率について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○独立な試行の確率について，興味をもって調べようとしている。 ○具体的事象について，反復試行の確率を，興味をもって調べようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 独立な試行の確率について，具体例を通してその意味を理解し，その確率を求めることができる。 ・ 反復試行の確率を理解し，反復試行の確率を求めることができる。 ・ 条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し，条件付き確率を求めることができる。 ・ 期待値について理解し，期待値を求めたり，期待値を利用して確率を求めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 独立な試行の確率はそれぞれの事象の確率の積に等しいことに着目し，具体例を通して考察することが	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 8 条件付き確率	【知識・技能】 ○条件付き確率を，記号を用いて表すことができる。 ○条件付き確率の式から確率の乗法定理の等式を導くことができる。 ○条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ○既習の確率と条件付き確率の違いについて，図や表などを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち，積極的に活用しようとする。	○	○	○	4
	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 期待値について理解し，期待値を求めたり，期待値を利用して確率を求めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 期待値を具体的な問題の意思決定に利用しようとしている。	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 9 期待値	【知識・技能】 ○期待値の定義を理解し，期待値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○結果が不確実な状況下において，どの選択が有理かを判断する基準として，期待値の考えを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日常の事象における不確実な事柄について判断する際に，期待値を用いて比較し，考察しようとしている。	○	○	○	2

2学期	第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ・ 三角形の内角の二等分線と比，外角の二等分線と比などについて理解し，それらを用いて線分の長さを求めることができる。また，数直線上の内分点，外分点の座標を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 図形の構成要素間の関係や既に学んだ図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 図形の性質で学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	第２章 図形の性質 第１節 平面図形 １　三角形の辺の比	【知識・技能】 ○線分の内分・外分，平行線と比などの基本事項を理解している。 ○定理を適切に利用して，線分の比や長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○図形の性質を証明するのに，既習事項を用いて論理的に考察することができる。また，適切な補助線を引いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○線分を内分・外分する点や，三角形の角の二等分線と比について調べようとしている。	○	○	○	2
	第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ・ 三角形の外心・内心・重心の性質を利用して，角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について，様々な性質を利用しながら考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について，様々な性質を利用しながら考えようとしている。	第２章 図形の性質 第１節 平面図形 ２　三角形の外心・内心・重心	【知識・技能】 ○三角形の外心，内心，重心の定義，性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ○図形の性質を証明するのに，間接的な証明法である同一法が理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○三角形の外心，内心，重心に関する性質に興味を示し，積極的に考察しようとする。	○	○	○	2
	第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ・ チェバの定理，メネラウスの定理を利用していろいろな辺の長さや比を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ チェバの定理の証明について，面積比を利用して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ チェバの定理の証明について，面積比を利用して考えようとしている。	第２章 図形の性質 第１節 平面図形 ３　チェバの定理・メネラウスの定理	【知識・技能】 ○チェバの定理，メネラウスの定理を理解している。 ○チェバの定理，メネラウスの定理を，三角形に現れる線分比を求める問題に活用できる。 ○三角形の存在条件や，辺と角の大小関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ○チェバの定理，メネラウスの定理について，論理的に考察し，証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○チェバの定理，メネラウスの定理に興味を示し，積極的に考察しようとしている。 ○三角形の辺と角の大小関係という明らかに見える性質を，論理的に考察しようとしている。	○	○	○	3
	第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ・ 円周角の定理とその逆，円に内接する四角形の定理，四角形が円に内接する条件の定理，接線と弦のつくる角の定理を利用して，角の大きさを求めることができる。また，円に内接する四角形を選ぶことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 円に内接する四角形の定理，接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について，円周角の定理を利用して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 円に内接する四角形の定理，接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について，円周角の定理を利用して考えようとしている。	第２章 図形の性質 第１節 平面図形 ４　円に内接する四角形	【知識・技能】 ○円の基本的な性質を理解している。 ○円周角の定理と円周角の定理の逆を理解している。 ○円に内接する四角形の性質を利用して，角度を求めることができる。 ○四角形が円に内接するための条件を利用して，円に内接する四角形を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円に内接する四角形の性質について，論理的に考察することができる。 ○円に内接する四角形の性質に着目し，逆に，四角形が円に内接するための条件について論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○三角形の外接円は必ず存在するが，三角形以外の場合は必ずしも存在しないことから，四角形が円に内接する条件を考察しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ・ 方べきの定理を利用して線分の長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 方べきの定理の証明について，三角形の相似を利用して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 方べきの定理の証明について，三角形の相似を利用して考えようとしている。	第２章 図形の性質 第１節 平面図形 ５ 円と直線	【知識・技能】 ○円の接線の性質を利用して，線分の長さを求めることができる。 ○円の接線と弦の作る角の性質を利用して，角度を求めることができる。 ○方べきの定理を利用して，線分の長さなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○円と直線を動的にとらえて，それらの位置関係を考察することができる。 ○方べきの定理について，対象とする図形に応じて見方を変えて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○相似を利用した方べきの定理の導き方に興味・関心をち、考えようとしている。	○	○	○	4
第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ・ 2つの円の位置関係から補助線を引くことによって，線分の長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 2つの円の位置関係を理解し，そこに現れる図形の性質を利用して，2つの円の共通接線の本数を考察したり，説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 2つの円の位置関係と，中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとしている。	第２章 図形の性質 第１節 平面図形 ６ ２つの円	【知識・技能】 ○2つの円が内接しているとき成り立つ性質を利用して角度を求めることができる。 ○共通接線の定義を理解し，その長さの求め方がわかる。 【思考・判断・表現】 ○2つの円を動的にとらえて，それらの位置関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○2つの円の位置関係と，中心間の距離と半径の関係を考察しようとしている。	○	○	○	2
第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ・垂線や線分の内分点・外分点の作図，b/a や ab の長さをもつ線分の作図ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 平行線と線分の比の性質を利用して，線分の作図の方法を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 数学で扱う図形と日常における図形との違いを考えてようとしている。	第２章 図形の性質 第１節 平面図形 ７ 作図	【知識・技能】 ○中学校で学んだ垂線の作図を知っている。 ○線分の内分点・外分点の作図や，b/a や ab の長さをもつ線分の作図ができる。 ○√a の長さをもつ線分の作図の方法を文章で表現し，得られた図形が確かに条件を満たすことを証明することができる。 【思考・判断・表現】 ○平行線と線分の比の性質を利用して，内分点・外分点の作図の方法や，b/a や ab の長さをもつ線分の作図の方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○数学で扱う作図と，日常において図形をかくことでは，何が違うか考えてみようとしている。	○	○	○	3
第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ・ 空間における2直線・2平面のなす角を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について，平面上に含まれる直線に着目して考察したり，説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について，平面上に含まれる直線に着目して説明しようとしている。	第２章 図形の性質 第２節 空間図形 ８ 直線と平面	【知識・技能】 ○空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。 【思考・判断・表現】 ○空間における直線と平面が垂直になるための条件を，与えられた立体に当てはめて考察することができる。 ○空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを，与えられた条件から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○空間における図形の位置関係について，積極的に考えてようとしている、	○	○	○	3
第３章 数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・いろいろな数がどの倍数であるかを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・倍数判定法により様々な数がどの倍数であるかを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活において倍数や約数の考え方を利用しようとしている。	第３章 数学と人間の活動 １ 約数と倍数	【知識・技能】 ○約数・倍数の意味を理解している。 ○いろいろな数の倍数の判定法を理解している。 【思考・判断・表現】 ○4の倍数の判定法から類推して，8の倍数の判定法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日常生活における具体的な事象の考察に，約数と倍数の考えを活用しようとしている。	○	○	○	2
定期考査			○	○		1

3学期	第３章 数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・ 素因数分解を利用して、約数やその個数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 様々な角度から素数について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 数学史に関心をもち、歴史を学ぼうとしている。	第３章 数学と人間の活動 ２　素数と素因数分解	【知識・技能】 ○自然数の素因数分解を求めることができる。 ○自然数の正の約数やその個数を求めるのに，素因数分解が利用できることを理解している。 【思考・判断・表現】 ○「エラトステネスのふるい」を使うことによって得られた数字の並びから，素数についてどのようなことが成り立つかを考察することができる。 ○決められた手順で複数枚のカードを操作する事象などを数学的に捉え，約数の個数の考えを用いて仕組みを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○数学史に興味・関心をもち，素数と素因数分解について学ぼうとしようとしている。	○	○	○	3
	第３章 数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・ 素因数分解を利用して、最大公約数や最小公倍数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 身近なことに対して最大公約数や最小公倍数を利用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 「干支」と最小公倍数との関連を考察しようとしている。	第３章 数学と人間の活動 ３　最大公約数・最小公倍数	【知識・技能】 ○素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 ○互いに素の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ○身近な事象について数学的に捉え，最大公約数・最小公倍数との関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○「干支」という身近な用語について，最小公倍数との関連を見つけて考察しようとしている。	○	○	○	3
	第３章 数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・ 2つの整数 a，b を除法と余りを用いて表し、余りを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 割り算と余りの性質について考察を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 数学史を通じて、割り算の性質を考察しようとしている。	第３章 数学と人間の活動 ４　整数の割り算	【知識・技能】 ○整数 a を正の整数 b で割る割り算を，a と b の間に成り立つ等式として捉えることができる。 ○2つの整数 a，b を除数と余りを用いて表し，a+b などの余りを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○問題解決の過程を振り返って，割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○数学史の話題を通じて，割り算の方法や割り算の余りの性質に興味・関心をもち、考えようとしている。	○	○	○	3
	第３章 数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・ 互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ $\sqrt{2}$ が無理数であることを証明できることについて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・長方形を正方形で敷き詰める操作と，互除法の計算とを対応させ考察しようとしている。	第３章 数学と人間の活動 ５　ユークリッドの互除法	【知識・技能】 ○互除法の原理を理解し，互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○長方形を正方形で敷き詰める操作で辺の長さを有理数，無理数の範囲まで拡張することで，$\sqrt{2}$ が無理数であることを証明できることについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○長方形を正方形で敷き詰める操作と，互除法の計算とを対応させる考え方を考察しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和７年度（１年次用）教科　理科　科目 化学基礎

教　科：　理科　　科　目：　化学基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１ 年次　１ 組～　５ 組

教科担当者：（１組：谷川　）（２組：中村　）（３組：中村　）（４組：谷川　）（５組：谷川　）

使用教科書：（「化学基礎」　実教出版　）

教科　理科　の目標：

【知識及び技能】　自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，現象などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　化学基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質とその変化について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 また，物質とその変化に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身につけている。	物質とその変化の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	１章　物質の構成 物質が原子，イオン，分子から構成されていることを理解する。 構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。	１章 １節　物質の探究 ２節　物質の構成粒子	【知識・技能】 ・物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。 ・熱運動と物質の三態との関係から，代表的な物質について，常温，常圧での状態を理解し，知識として身につけている。 ・物質の状態に関して観察，実験を行い，それらに関する技能を習得し，それらの測定結果から物質の状態について考察できる。 【思考・判断・表現】 ・原子は原子核と電子からなっていて，電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを推論できる。 ・物質の状態変化は，構成粒子の分子運動に関係し，それが温度や圧力によるものであることを論理的，総合的に判断できる。 ・周期表から大まかな性質が判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質に関心をもち，物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究しようとしている。 ・物質の状態変化の現象について，粒子の運動と関連付けて探究しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し，イオン結合およびイオン結合からなる物質の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連付けて理解し，分子からなる物質の性質を理解する。さらに，分子間にはたらく力により物質ができていることを理解する。	２章 １節　イオン結合 ２節　共有結合と分子間力	【知識・技能】 ・物質の構成粒子の違いによる結合・結晶の差異を，代表的な物質から具体的に理解し，知識を身につけている。 ・物質は結合の違いによって性質に違いがあり，区別できることを理解している。 ・化学結合に関する観察，実験の操作や記録などの技能が習得でき，その結果より結論を表現できる。 ・それぞれの物質の，結合による性質の違いを利用し，物質を見わける操作方法について判断することができる。 【思考・判断・表現】 ・物質の性質は，イオン結合，共有結合，金属結合などの結合の違いによって異なることを，代表的な物質の性質の比較から推論できる。 ・それぞれの物質について，結合によって区別することができる。 ・それぞれの物質の性質を結合と関連付けて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質に関心をもち，物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究しようとしている。 ・物質の状態変化の現象について，粒子の運動と関連付けて探究しようとする。	○	○	○	6
	金属原子間の結合及び金属からなる物質の性質を理解する。 １～３節において学んだ物質の結晶を，結合の違いによって区別し，性質を整理する。 具体的な物質について，それぞれ性質や利用例を理解する。	３節　金属結合 ４節　化学結合と物質	【知識・技能】 ・物質の構成粒子の違いによる結合・結晶の差異を，代表的な物質から具体的に理解し，知識を身につけている。 ・物質は結合の違いによって性質に違いがあり，区別できることを理解している。 ・化学結合に関する観察，実験の操作や記録などの技能が習得でき，その結果より結論を表現できる。 ・それぞれの物質の，結合による性質の違いを利用し，物質をみわける操作方法について判断することができる。 【思考・判断・表現】 ・物質の性質は，イオン結合，共有結合，金属結合などの結合の違いによって異なることを，代表的な物質の性質の比較から推論できる。 ・それぞれの物質について，結合によって区別することができる。 ・それぞれの物質の性質を結合と関連付けて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質の構造は，イオン結合，共有結合，金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを，意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの結合とその結晶について，正確に区別し探究しようとする。 ・身近な物質について，結合によって区別し，性質や利用例を日常の事象と関連付けて探究しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2学期	原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項を学ぶ。 物質量と溶液の濃度の関係を学ぶ。	3章 １節　物質量と化学反応式	【知識・技能】 ・化学式を使用できるとともに，原子量，分子量，式量と物質量の知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し，物質量を用いた基本的な計算ができ，化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。また，物質量と溶液の濃度の関係を考察できる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現できる。 ・表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・代表的な物質の化学変化に注目し，化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに，意欲的にそれらを探究しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について理解する。	3章 １節　物質量と化学反応式	【知識・技能】 ・物質量の概念を用いて，化学変化の量的関係を把握する方法を理解し，知識を身につけている。 ・化学反応式と量的関係が大きく関わっていることを実験を通して導くことができる。 【思考・判断・表現】 ・化学反応式から物質量の定義を理解し，物質量を用いた基本的な計算ができ，化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現できる。 ・表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけ，観察，実験の過程や結果および数的な処理から，自ら考えを導き出したり，実験報告書を作成したり，発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・代表的な物質の化学変化に注目し，化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに，意欲的にそれらを探究しようとする。	○	○	○	8

	水溶液の酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度との関係およびpHについて理解する。 酸と塩基の性質と，中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。	２節　酸と塩基	【知識・技能】 ・酸･塩基の定義を理解し，日常生活と関連づけて酸･塩基反応を捉えることができる。 ・pHの指標の便利さと実用性を理解している。 ・酸・塩基の量的関係から濃度未知の酸や塩基の濃度を求める技能を修得している。 ・酸塩基指示薬やpHメータなどが扱え，身近な物質のpH測定方法を習得している。 【思考・判断・表現】 ・酸･塩基の観察，実験をもとに共通性を見出し，酸･塩基の定義を理解し，日常生活と関連付けて酸･塩基反応を考察できる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸・塩基や中和反応に関心をもち，それらを日常生活に関連づけて意欲的に探究しようとする。 ・身近な物質のpHを測定して考察するなど，身近な現象と酸・塩基反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
３学期	中和滴定と滴定曲線により，中和反応を理解する。	２節　酸と塩基	【知識・技能】 ・酸･塩基の定義を理解し，日常生活と関連づけて酸･塩基反応を捉えることができ，さらに中和滴定の量的関係を理解している。 ・実験器具の取り扱いができると同時に，実験結果から濃度未知の酸や塩基の濃度を求める技能を修得している。 【思考・判断・表現】 ・酸･塩基の強弱とpHの観察，実験などを通し，科学的に考察できる。また，酸・塩基の中和反応についても考察できる。 ・考察して導き出した考えを的確に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸・塩基や中和反応に関心をもち，それらを日常生活に関連づけて意欲的に探究しようとする。 ・身近な物質のpHを測定して考察するなど，身近な現象と酸・塩基反応を関連づけて，延長上には中和反応にも関連しているということを意欲的に探究しようとする。	○	○	○	6
	酸化・還元の定義を理解し，酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。	３節　酸化還元反応	【知識・技能】 ・電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解し，知識を身につけている。 ・酸化・還元の定義を理解し，日常生活と関連づけて酸化還元反応を捉えることができる。 【思考・判断・表現】 ・さまざまな観察，実験を通し，酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し，共通性を見いだし，酸化還元反応として論理的に考察できる。 ・身近にあるものから酸化還元反応との関連性を見いだし，論理的に考察し，科学的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・燃焼などの酸化還元反応に興味をもち，それらの共通性を意欲的に探究する。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5
	酸化剤と還元剤の反応と酸化還元反応の起こりやすさの関係を理解する	３節　酸化還元反応	【知識・技能】 ・代表的な酸化剤，還元剤の観察，実験の報告書を作成する中で，電子の授受としての規則性を見いだし，自らの考えで表現することができる。 ・金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・酸化還元反応の例として，電池の実験を行い，その説明を科学的に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸化剤・還元剤や金属の反応性の違いに興味をもち，それらの共通性を意欲的に探究する。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。	○	○	○	6
	酸化還元反応と日常生活や社会生活との関わりについて理解する。	３節　酸化還元反応	【知識・技能】 ・金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解し，実用電池や電気分解，金属の製錬など身近に酸化還元反応が利用されていることを知っている。 【思考・判断・表現】 ・酸化還元反応の代表的な例として，電池の実験を行い，その説明を化学的に表現できる。 ・実用電池や金属の製錬と酸化還元反応との関連性を見いだし，論理的に考察し，科学的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・燃焼，金属の溶解，実用電池の利用に興味をもち，それらの共通性を意欲的に探究する。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連づけて意欲的に探究しようとする。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和７年度（１年次用）教科　理科　科目 生物基礎

教　科：　理科　　科　目：　生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１ 年次　１ 組～　５ 組

教科担当者：（　１・２・３・４・５組：池田祥子　）

使用教科書：（ 高等学校　生物基礎（啓林館）　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，現象などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　生物基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・現存する多様な生物には共通性があり，その共通性は共通の起源をもつことに由来することがわかる。 ・単細胞生物と多細胞生物の機能における共通性と多細胞生物の体の成り立ちがわかる。 ・細胞が基本単位であることがわかる。	第1章　生物の特徴 第１節 生物の共通性と多様性 A 生物がもつ特徴 B 細胞と生物 C 細胞の構造	【知識・技能】 生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる。細胞小器官の名称と働きを理解し，原核生物と真核生物の共通点と相違点がわかる。 【思考・判断・表現】 生物としての共通の特徴をあげることができ，多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。細胞小器官の名称と働きを理解し，原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な生物に関心を持ち，形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。細胞小器官の特徴と働きに注目する。	○	○	○	4
	・生命活動に必要なエネルギーとATPについてわかる。 ・ATPと代謝についてわかる。 ・光合成により光エネルギーを用いて有機物がつくられ，呼吸により有機物からエネルギーが取り出されることがわかる。	第２節　生物とエネルギー A 代謝とエネルギー B 代謝と酵素 C 光合成と呼吸	【知識・技能】 ＡＴＰが果たす役割について理解する。酵素反応の特徴を理解できる。光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。 【思考・判断・表現】 代謝におけるエネルギーについて考えることができる。酵素の働きについて考えることができる。細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。ＡＴＰとエネルギーの移動，酵素の役割について関心を持つ。光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	・ 多様な植生が成立する要因には植物の環境への適応が関わっていることを理解する。 ・陸上の植生が移り変わっていくこととその要因がわかる。	第5章　植生と遷移 第１節　植生と遷移 A 環境 B 植生の遷移	【知識・技能】 植物の形態に環境への適応が現れる例があり，光要因も大きな要因のひとつであることが分かる。 【思考・判断・表現】 植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壌・温度・光がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の生活に影響を及ぼす環境要因を考察する意欲を持つ。	○	○	○	5
	・気温と降水量の違いによって，地球上ではさまざまなバイオームが成立していることがわかる。 ・日本のバイオームの特徴がわかる	C 遷移とバイオーム D 日本のバイオーム	【知識・技能】 気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 【思考・判断・表現】 バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界のバイオームの特色に関心を持つ。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2学期	・生物の体内環境が一定に保たれていること，体内環境とは体液の環境であることがわかる。 ・自律神経系によって心拍数が適切に保たれていることがわかる。 ・体内環境がホルモンにより調節されていることがわかる。	第３章神経系と内分泌系による調節 第 1 節 情報の伝達 A 体液と恒常性 B 自律神経系と恒常性 C 内分泌系 D ホルモン分泌の調節	【知識・技能】 体液（血液・リンパ液・組織液）の成分や働き，循環系を理解する。ホルモン量のフィードバック調節や内分泌系を理解する。 【思考・判断・表現】 生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ，循環系と体液の働き（酸素解離や血液凝固など）を考えることができる。動物の恒常性が自律神経と内分泌系により調節されていると考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体内環境の恒常性に関心を持ち，体液の成分，体液の働き，循環、自律神経、ホルモンに興味・関心を持つ。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	・体内環境は自律神経やホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることがわかる。	第 2 節 体内環境の維持のしくみ A 血糖濃度の調節 B ヒトの体温調節 C 水分量の調節	【知識・技能】 血糖濃度とインスリン濃度のグラフからインスリンの効果を読みとることができる。体温調節には，肝臓や筋肉汗腺が重要な働きをしていることがわかる。 【思考・判断・表現】 血糖濃度や水分量，体温が，自律神経の働きやホルモンの作用により一定の範囲に保たれていると考えることができる。体液の恒常性における肝臓の働きを考えることができる。体液の恒常性における腎臓の働きを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自律神経とホルモンが共同して恒常性を維持していることに関心を持つ。肝臓の機能に関心を持ち，肝臓が体液の恒常性に果たす役割を知ろうとする。腎臓の機能に関心を持ち，腎臓が体液の恒常性に果たす役割を知ろうとする。	○	○	○	5
	・病原菌などの異物を認識，排除して体内環境を守るしくみがわかる。 ・非特異的な自然免疫の反応がわかる。 ・体液性免疫と細胞性免疫のそれぞれのしくみがわかる。 ・免疫が実際の病気とどのように関っているのかがわかる。	第 1 節 免疫の働き A 生体防御 B 自然免疫 C 獲得免疫 D 免疫と病気	【知識・技能】 生体防御には異物に対する防御と自然免疫，獲得免疫があることを理解する。微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解する。免疫寛容に関係するリンパ球の選択を理解する。生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解する。 【思考・判断・表現】 自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて調べようとする。細菌などを食作用で除く生体防御反応である。予防接種や感染症との関連も含めて，免疫に関する話題に興味を持つ。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

３学期	・ＤＮＡが塩基の相補性に依存して二重らせん構造をもち，塩基の配列が遺伝情報となることがわかる。 ・体細胞分裂の分裂前に母細胞のＤＮＡと同じ塩基配列のＤＮＡが作られることがわかる。 ・細胞周期の間期（Ｇ１，Ｓ，Ｇ２期）と分裂期におけるＤＮＡ量の変化がわかる	第２章　遺伝子とその働き 第１節　遺伝情報とDNA A　DNAの構造 B　DNAの複製 C　遺伝情報の分配	【知識・技能】 ＤＮＡの二重らせん構造と塩基の相補性の重要性が理解できる。遺伝情報の複製は塩基配列の相補的な複製であることが理解できる。DNAの抽出について理解する。細胞周期と体細胞分裂の各期の特徴が分かり，遺伝情報の分配の時期がわかる。 【思考・判断・表現】 ＤＮＡの二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。母細胞のＤＮＡの複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。細胞周期と染色体の変化の関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること，ＤＮＡの特徴について関心をもち考えようとする。体細胞分裂と細胞周期が染色体の変化によって観察できることに関心を持つ。	○	○	○	6
	・ＤＮＡの塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になることがわかる。 ・転写と翻訳における塩基配列からアミノ酸配列への情報の流れがわかる。タンパク質が酵素として働くことで，生命現象を支えていることがわかる。 ・すべての遺伝子が常に発現しているわけではなく，個体の部位に応じて発現している遺伝子が異なることがわかる。	第２章　遺伝子とその働き 第２節　遺伝情報とタンパク質の合成 A　遺伝子の発現とタンパク質 B　タンパク質の合成 C　遺伝情報と遺伝子発現	【知識・技能】 塩基配列と遺伝情報の関係と，アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事を理解する。転写と翻訳の過程を理解し，遺伝情報が転写されたｍＲＮＡの役割を理解することができる。タンパク質が生命現象と関連して多様な働きをしていると考えることができる。遺伝情報はほとんどの細胞で維持されているが，遺伝子の発現は調節されていることがわかる。 【思考・判断・表現】 ＤＮＡの塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になると対応することができる。個体を構成する細胞は遺伝的に同一で，部位によって発現する遺伝子が異なると考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 タンパク質について感心をもつ。ＲＮＡとタンパク質の構造，および転写と翻訳のしくみに関心を持つ。遺伝情報をゲノムととらえることに関心を持つ。ゲノム医療など最新の医学的話題にも関心を持つ。	○	○	○	5 合計 52

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和７年度（1年次用）教科 保健体育 科目 体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１年次　１組～　５組

教科担当者：（１・２組：３・４組：５組：浅野結香㊞、 小久保優㊞、小森悠希㊞、長野端央㊞、本村雄㊞）

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館書店）　　）

教科　保健体育　　の目標：　体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　　の目標：　体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに，自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1・2・3学期	武道（柔道）選択制 【知識及び技能】 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技，連絡技を用いて，相手を崩して投げたり，抑えたりするなどの攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保すること。	・指導事項 礼法 基本動作 抑え技 抑え技の防御 投げ技 投げ技の防御 技能テスト ・一人一台端末の映像による自分の動作確認　等	【知識・技能】 伝統的な考え方，技の名称や見取り稽古の仕方，体力の高め方などについて理解している。 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり，抑えたりするなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 武道に自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	
	武道（剣道）選択制 【知識及び技能】 相手の動きの変化に応じた基本動作から，得意技を用いて，相手の構えを崩し，　素早くしかけたり応じたりするなどの攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 に自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保すること。	・指導事項 礼法 基本動作 しかけ技 応じ技 技能テスト ・一人一台端末の映像による自分の動作確認　等	【知識・技能】 伝統的な考え方，技の名称や見取り稽古の仕方，体力の高め方などについて理解している。 相手の動きの変化に応じた基本動作を行いながら、相手の構えを崩し、その隙をとらえて素早くしかけ技や応じ技の基本となる技や得意技を用いた攻防を展開することができる。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 武道に自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	29

	ダンス（選択制） 【知識及び技能】 次の運動について，感じを込めて踊ったり，みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい，ダンスの名称や用語，踊りの特徴と表現の仕方，交流や発表の仕 方，運動観察の方法，体力の高め方などを理解するとともに，イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，作品や発表などの話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保すること。	・指導事項 創作ダンス フォークダンス 現代的なリズムのダンス 交流会 発表会 ・一人１台端末の活用 踊りの確認振り返り等	【知識・技能】 ダンスの名称や用語，踊りの特徴と表現の仕方，交流や発表の仕方，運動観察の方法，体力の高め方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・表現などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えた ことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに自主的に取り組むとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，作品や発表などの話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	
	球技（ラグビー）　男子 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。	・指導事項 ボール慣れ ハンドリング ストレートラン スクリューパス ランニングパス オフザボールゲーム ストリートラグビー タッチフット 試合 技能テスト	【知識・技能】 ・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	9
	球技（バレーボール）男子 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。	・指導事項 アンダーハンドパス オーバーハンドパス 連続パス フローターサーブ アンダーハンドパス 三段攻撃練習 試合 技能テスト	【知識・技能】 ・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	11

1学期	陸上競技（短距離）女 【知識及び技能】 それぞれの技術には，記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解させできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方 を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマ ナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違 いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保するこ と。	・指導事項 スタート 中間走 ハードリング バトリング	【知識・技能】 走者のスピードを十分高めたりして，個人やリレーチームのタイムを短縮したり，競走したりできる。 中間走とは，スタートダッシュでの加速を終え，ほぼ定速で走る区間の走りができる。 つなぎを滑らかにしてとは，スタートダッシュからの加速に伴って動きを変化させ滑らかに中間走につなげることができる。 スピードを維持した走りからハードルを低く越すとはインターバルのスピードを維持して勢いよく低くハードルを走り越すことができる。 バトンの受渡しをするために，次走者のスピードを十分高めることができる。 【思考・判断・表現】 陸上競技の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けること。 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えること。 選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶことができる。。 【主体的に学習に取り組む態度】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを一層深く味わい，自己の適性に応じた「する，みる，支える，知る」活動に主体的に取り組もうとしている。				9
	器械運動（マット）女子 【知識及び技能】 技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするな どの多様な楽しさや喜びを味わい，技の名称や行い方，体力の高め方，課題解決の 方法，発表の仕方などを理解するとともに，自己に適した技で演技すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的， 計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを 他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に主体的に取り組むとともに，よい演技を讃えようとすること，互いに 助け合い高め合おうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしよ うとすることなどや，健康・安全を確保すること。	・指導事項 前転 後転 開脚前転 開脚後転 側方倒立回転 組み合わせ技 ・一人一台端末の映像による自分の動作確認　等	【知識・技能】 ・新たに学習する技の系・技群・グループの系統性の名称を理解できる。 技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを理解できる。 回転系の接転技群・ほん転技群の基本的な技，巧技系の平均立ち技群の基本的な技を構成し演技することができる。 【思考・判断・表現】 器械運動の特性を踏まえて技や演技などの課題を設定し、課題解決の過程を踏まえて自己や仲間の新たな課題を発見することができる。発見した課題を、合理的・計画的に解決したり、新たな課題の発見につなげたりすることができるよう知識を活用したり、応用したりすることができる。 自己や仲間の課題について課題解決の過程を踏まえて思考し判断したことを、根拠を示したり他者に配慮したりしながら言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「する，みる，支える，知る」などの学習に主体的に取り組もうとし、仲間の技のよい動きやよい演技を客観的な立場から，自己の技の出来映えや状況にかかわらず，讃えようとしている。 技や演技を行う際に，補助し合ったり，運動 観察を通して仲間の課題を指摘し合ったり、自己や仲間の課題に応じた練習計画の立案 や見直したりするなどの活動に自ら取り組もうとするしている。	○	○	○	9

	水泳　習熟度別　男子女子 【知識及び技能】 次の運動について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，効率的に泳ぐこと。ア クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。イ 平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。ウ 背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐこと。 エ バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐこと。オ　複数の泳法で泳ぐこと，又はリレーをすること。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	・指導事項 けのび クロール 平泳ぎ 呼吸法 プル・プッシュ リレー スタート 測定会 技能テスト ・一人一台端末の映像による自分の動作確認　等	【知識・技能】 技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐことができる。・バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐことができる。。 【思考・判断・表現】 ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	5

	球技（バスケットボール） 男 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。	・指導事項 シュート パス ドリブル オフェンス ディフェンス ３on３ 試合 技能テスト	【知識・技能】 ・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	9
	球技（バレーボール）女子 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。	・指導事項 アンダーハンドパス オーバーハンドパス 連続パス フローターサーブ アンダーハンドパス 三段攻撃練習 試合 技能テスト ・一人１台端末の活用 打ち方の確認振り返り等	【知識・技能】 ・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	
	陸上競技（短距離）男 【知識及び技能】 それぞれの技術には，記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解させできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方 を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保するこ	・指導事項 スタート 中間走 ハードリング バトリング	【知識・技能】 走者のスピードを十分高めたりして，個人やリレーチームのタイムを短縮したり，競走したりできる。 中間走とは，スタートダッシュでの加速を終え，ほぼ定速で走る区間の走りができる。 つなぎを滑らかにしてとは，スタートダッシュからの加速に伴って動きを変化させ滑らかに中間走につなげることができる。 スピードを維持した走りからハードルを低く越すとはインターバルのスピードを維持して勢いよく低くハードルを走り越すことができる。 バトンの受渡しをするために，次走者のスピードを十分高めることができる。 【思考・判断・表現】 陸上競技の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けること。 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えること。 選択した運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶことがでできる。。 【主体的に学習に取り組む態度】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを一層深く味わい，自己の適性に応じた「する，みる，支える，知る」活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9

	陸上競技（長距離走）男女 【知識及び技能】 次の運動について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，各種目特有の技能を身に付けること。短距離走・リレーでは，中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること，長距離走では，自己に適したペースを維持して走ること，ハードル走では，スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保すること。	・指導事項 長距離走 スタート 中間疾走 フィニッシュ 時間走 周回走 測定	【知識・技能】 ・技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。長距離走では，自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり，健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	9
	体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	基礎事項 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 (ｱ) スポーツの歴史的発展と多様な変化 (ｲ) 現代のスポーツの意義や価値 (ｳ) スポーツの経済的効果と高潔さ (ｴ) スポーツが環境や社会にもたらす影響	【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
							合計 105

年間授業計画

高等学校 令和７年度(1年次用) 教科　保健体育　科目 保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（１組：　本村　）（２組：　小森　）（３組：　本村　）（４組：　小森　）（５組：　本村　）

使用教科書：（ 新高等保健体育　（大修館/保体７０２）　）

教科　保健体育　の目標：体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　保健　の目標　保健の見方・考え方を働かせ，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し，改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1単元 現代社会と健康 【知識及び技能】 健康を保持増進するためには，一人一人が健康に関して深い認識をもち，自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする必要がある。また，個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて現代社会の様々な感染症・生活習慣病・喫煙・飲酒・薬物乱用などの健康課題に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報ら課題を発見し，疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な方法を選択し，それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	1・日本における健康課題の変遷 ・国民の健康水準の向上 ・疾病構造の変化と社会背景 2・健康の考え方と成り立ち ・国民の健康の考え方の変化 ・健康の成り立ちに関わる様々な要因の影響 3・ヘルスプロモーションと健康にかかわる環境づくり ・ヘルスプロモーションの考え方 ・健康を保持増進するための環境 4・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康を保持増進するための意思決定・行動選択 ・個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくり	【知識・技能】 ①国民の健康問題について，我が国の死亡率，受療率，平均寿命，健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通じて理解したこと，健康水準，及び疾病構造の変化には，科学技術の発達，及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ②疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や，生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを例として，健康水準の向上，疾病構造の変化に伴い，個人や集団の健康についての考え方も変化してきていること，免疫，遺伝，生活行動などの主体的要因と，自然，経済，文化，保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ③健康を保持増進するには，ヘルスプロモーションの考え方に基づき，適切な意思決定や行動選択により，疾病等のリスクを軽減することを含め，自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに，環境づくりが重要であること，適切な意思決定や行動選択には，個人の知識，価値観，心理状態，及び人間関係などを含む社会環境が関連していること，健康を保持増進するための環境には，自然環境，及び政策や制度，地域活動などの様々な社会環境があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①現代社会と健康における事象や情報などについて，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ②国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①国民の健康課題について，課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
		5・現代における感染症の問題 ・感染症の発生や流行の背景にある時代や地域差 ・新興感染症・再興感染症の発生や流行の現状とその理由 6・感染症の予防 ・感染症予防の三原則 ・感染症予防に必要な個人の取り組みと社会的な取り組み 7・性感染症・エイズとその予防 ・性感染症・エイズの現状と今後の課題 ・性感染症・エイズの予防に必要な個人と社会の取り組み	【知識・技能】 ①感染症は，時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け，発生や流行に違いが見られること。その際，交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること，また，新たな病原体の出現，感染症に対する社会の意識の変化等によって，腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症，エボラ出血熱などの新興感染症や結核やマラリアなどの再興感染症の発生や流行が見られることについて，理解したことを言ったり書き出したりしている。 ②感染症のリスクを軽減し予防するには，衛生的な環境の整備や検疫，正しい情報の発信，予防接種の普及など社会的な対策とともに，それらを前提とした個人の取組が必要であることについて，理解したことを言ったり書き出したりしている。 ③エイズ及び性感染症について，その原因，及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について，言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ①感染症について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 ②感染症の予防について，事例を通して整理したり，感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策の適切な方法を選択したりするとともに，それらを他者に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①感染症の予防について，課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
		定期考査		○	○		

2学期		８・生活習慣病の予防と回復 ・生活習慣病のリスクを顕現し予防するために必要な個人の取り組み ・生活習慣病予防や回復のために必要な社会的対策 ９・身体活動・運動と健康 ・身体活動・運動と健康の関係 ・身体活動・運動の継続的な実践に必要な個人と社会的対策 １０・食事と健康 ・食事と健康の関係 ・健康的な食生活の実践に必要な個人と社会的対策 １１・休養・睡眠と健康 ・休養・睡眠と健康の関係 ・適切な休養・睡眠の確保に必要な個人と社会的対策 １２・がんの予防と回復 ・がんの種類と発生要因 ・がん予防と回復に必要な個人と社会的対策	【知識・技能】 ①生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること，定期的な健康診断の受診が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ②がんについて，胃がん，大腸がん，肝がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあること，がんの予防にはがん検診の普及など社会的な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ③生活習慣病などの予防と回復には，個人の取組とともに，健康診断やがん検診の普及，正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見し，説明している。 ②生活習慣病などの予防と回復について，習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し，リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理し，説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①生活習慣病などの予防と回復について，個人の取組や社会的な対策についての学習に関心を持ち，主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
		１３・喫煙と健康 ・喫煙による健康影響 ・喫煙による健康被害防止に必要な個人と社会的対策 １４・飲酒と健康 ・飲酒による健康影響 ・飲酒による健康被害防止に必要な個人と社会的対策 １５・薬物乱用と健康 ・薬物乱用による健康影響 ・薬物乱用による健康被害防止に必要な個人と社会的対策	【知識・技能】 ① 喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ② 喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ③ 薬物の乱用は，心身の健康，社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから，決して行ってはならないこと，薬物乱用を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ，及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ① 喫煙，飲酒と健康ついて，個人及び社会生活と関連付け，自他や社会の課題を発見しているとともに，その解決方法を整理している。 ② 薬物乱用の防止について，習得した知識を基に自他や社会の課題の解決方法を考え，それらを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①喫煙，飲酒，薬物乱用と健康について，課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
		１６・精神疾患の特徴 ・精神疾患の特徴や症状 ・精神疾患の発症、回復のポイント １７・精神疾患への対応 ・精神疾患の予防や回復に必要な適切な対応 ・疾病の早期発見と社会的対策	【知識・技能】 ①精神疾患は，精神機能の基盤となる心理的，生物的，または社会的な機能の障害などが原因となり，認知・情動・行動などの不調により精神活動が不全になった状態であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ②精神疾患は，誰もが罹患しうること，若年で発症する疾患が多いこと，適切な対処によって回復し生活の質の向上が可能であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ③精神疾患の予防と回復には，調和のとれた生活を実践すること，早期に心身の不調に気付くこと，リラクセーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であること。また、心身の不調時には，精神活動の変化が通常時より強く，持続的に生じること，心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることや，自殺の背景にはうつ病をはじめとした精神疾患が存在していること，専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること，差別や偏見の対象ではないことについて，理解したことを言ったり書いたりしたりしている。 【思考・判断・表現】 ①精神疾患の予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 ②精神疾患の予防と回復について，習得した知識を基に，心身の健康を保ち，不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①精神疾患の予防と回復について，課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
		定期考査		○	○		

３学期	２単元 安全な社会生活 【知識及び技能】 事故等の発生には人的要因及び環境要因が関わることを踏まえ，個人の取組に加えて社会的な取組が求められることを理解する。また，個人が心肺蘇生法を含む応急手当の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 危険の予測やその回避の方法を考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向けた学習に積極的に取り組もうとしている。	１・事故の現状と発生要因 ・様々な場面での事故とその被害の実態 ・事故発生の背景にある人的要因と環境要因	【知識・技能】 ①事故の発生には人的要因及び環境要因が複合して関わること，また，交通事故ではブレーキ使用時の制動距離や自動車の運転席からの死角など車両特性も事故の発生に影響することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ②安全な社会づくりには，環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ③個人が心肺蘇生法を含む応急手当の知識を身に付け，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに，それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①安全な社会生活について，課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
		２・交通事故防止の取り組み ・交通事故防止における車両特性、安全な運転と歩行 ・交通事故の補償と法的責任				
		３・安全な社会の形成 ・安全な社会形成に必要な個人の対策 ・安全の確保に必要な環境の整備				
		４・応急手当の意義と救急医療体制 ・応急手当の意義 ・応急手当の正しい手順と方法 ・救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性	【知識・技能】 ①応急手当の意義，手順や方法，さらに，自ら進んで行う態度，社会の救急体制の整備や，それを適切に利用することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ②日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて，実習を通して理解したことを言ったり書いたりしている。 ③心肺停止状態においては，急速に回復の可能性が失われつつあり，速やかな気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること，及び方法や手順について，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①応急手当について，個人及び社会生活と関連付けて，自他や社会の課題を発見している。 ②安全な社会生活について，自他や社会の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，記述したりして，筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①応急手当について，課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6 合計 35
		５・心肺蘇生法 ・心肺蘇生法の意義 ・心肺蘇生法の正しい方法と手順				
		６・日常的な応急手当 ・日常生活における怪我の基本的な応急手当の方法 ・熱中症予防と基本的な応急手当の方法				
		定期考査		○	○		

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　　芸術　　科目 音楽Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　５組

教科担当者：（１・２組：　林）（３・４組：　林）（５組：　林）

使用教科書：（音楽Ⅰ　Tutti＋　　教育出版　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景等と関わり及び本学の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける.	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的、共同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	オリエンテーション ―歌おう，響かせよう，楽しもう― 【知識及び技能】親しみやすいJ-POPの歌や学校の校歌を，歌い合わせる楽しみを味わいながら高校の音楽学習への意欲を養う。 【思考力、判断力、表現力等】音楽に自ら積極的に関わり，音楽を幅広く様々な視点から捉えようとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	○校歌 ○君に届くまで ○優しいあの子 ◆口絵①Life with Music ◆音楽経験アンケート（自作教材） ◆Review of Basics① ◆楽典	○			○	【知・技】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能，他者との調和を意識して歌う技能を身に付け，歌唱で表している。 【思・判・表】音色，リズム，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】親しみやすいJ-POPの歌や校歌を歌うことや，音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	歌の旅に出ようⅠ ―イタリアの民謡や歌曲― 【知識及び技能】イタリア語の言葉の特性と旋律やリズム，曲の構成などとの関わりに関心をもつ。 【思考力、判断力、表現力等】言葉の抑揚や言語のもつ質感を捉えながら表情豊かに歌う。 【学びに向かう力、人間性等】表情豊かに歌うことに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	◆イタリア語に挑戦！ ○我が太陽 ○Caro mio ben ○Santa Licia ◆Review of Basics⑤⑥ ◆楽典	○			○	【知・技】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり，言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 【思・判・表】音色，リズム，旋律，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	音楽のイメージをもって歌おう ―「夏の思い出」のヒミツを手掛かりに― 【知識及び技能】中学校の既習教材である「夏の思い出」の楽曲の魅力を探る。 【思考力、判断力、表現力等】曲に対する自己のイメージを豊かにしたり，他者の音楽表現に共感したりしながら歌唱表現を創意工夫する手立てを学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】他者の音楽表現に共感したりしながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	◆夏の思い出の魅力を探ろう ○夏の思い出 ○夏は来ぬ ○みかんの花咲く丘 ◆Review of Basics②③④ ◆楽典	○			○	【知・技】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 【思・判・表】音色，リズム，速度，旋律，強弱を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】楽曲の魅力を探る学習を通して，曲に対する自己のイメージを豊かにしたり，他者の音楽表現に共感したりしながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10

2学期	音楽の聖人が残した遺産 【知識及び技能】ラモーからベートヴェンに至るまでの鍵盤楽器の進化・発展の変遷を辿る。 【思考力、判断力、表現力等】時代や作曲者の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら曲や演奏について根拠をもって批評する。 【学びに向かう力、人間性等】根拠をもって批評することに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	◆西洋音楽史 ◆ワンポイント！用語解説 ◆楽器音域表		○		○	【知・技】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解している。 【思・判・表】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠や音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主】時代や作曲者の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら曲や演奏について根拠をもって批評することに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	クラシック・ギターを楽しもう 【知識及び技能】クラシック・ギターの奏法を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	◆Start Up！Playing the Guitar □カノンによるギター・エチュード □ソナタK.331によるギター二重奏 □茶色の小びん □「第三の男」のテーマ □Greensleeves □L'inverno 「冬」から		○		○	【知・技】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。曲にふさわしい奏法，身体の使い方，他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け，器楽で表している。 【思・判・表】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えどのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】クラシック・ギターの奏法を身に付けることや技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら演奏することに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	弾き語りを楽しもう 【知識及び技能】ギターの奏法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】アンサンブル活動をすることに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	□弾き語りに挑戦しよう：翼をください □カノンによるギター・エチュード □ソナタK.331によるギター二重奏 □茶色の小びん □「第三の男」のテーマ ◆ギター&キーボード・コード表	○	○		○	【知・技】曲想と楽器の音色や奏法との関わり，様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能，他者との調和を意識して演奏する技能，表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け，器楽で表している。 【思・判・表】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主】ギターの奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
3学期	きらきら星の旋律で変奏曲をつくろう ―音楽を形づくっている要素のはたらきと効果― 【知識及び技能】楽を形づくっている要素の働きを変化させ，変奏や編曲をする技能を身に付け，創作する。 【思考力、判断力、表現力等】リズム，速度，旋律，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように音楽をつくるかについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】変奏曲を創作することに関心をもち，主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	◆音のスケッチ②音楽を形づくっている要素 ◎きらきら星変奏曲 ◆楽典			○	○	【知・技】音の連なりや重なりによる響き，音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解している。音楽を形づくっている要素の働きを変化させ，変奏や編曲をする技能を身に付け，創作で表している。 【思・判・表】リズム，速度，旋律，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 【主】自分がつくった旋律を活用して音楽を形づくっている要素の働きを変化させて変奏曲を創作することに関心をもち，主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	混声合唱を美しく響かせよう ―世界の声を学ぶ― 【知識及び技能】混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌う。 【思考力、判断力、表現力等】曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】歌唱表現を創意工夫することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組む。	○フィンランディア讃歌 ○ぜんぶ ◆◇音のスケッチ④和音，和声 ◆合唱の響きを味わおう ◎アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618 ◆日本の民謡と芸能 ○◎ソーラン節 ○◎会津磐梯山 ◆民謡を歌ってみよう	○			○	【知・技】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり，様々な表現形態による歌唱表現の特徴，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。他者との調和を意識して歌う技能，表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け，歌唱で表している。 【思・判・表】音色，速度，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えて聴き，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことや，曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　　芸術　　科目 美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　　１組～　　２組

教科担当者：（1・２組：山本一博）

使用教科書：（ 美術１　光村図書　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	様々な事柄の中から、造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を創造的に発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、効果的な作品制作に結び付ける力を養う。	美術の幅広い創造活動に興味を持ち、作品へ高い関心を示し、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、主体的に制作、鑑賞に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	A 単元　オリエンテーション 【知識及び技能】 美術とは何か、美術作品の評価基準とは、時代の移り変わりの中でこれからの美術の役割などを、美術Ⅰの学習イメージを持ち、学びの意味について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、自己の意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項　　オリエンテーション（美術とは） ・教材　原稿用紙、等	○	○	○	○	【知識・技能】 芸術の価値、美術作品の評価など対象や事象をとらえ、造形的な視点について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を創造的に発想し構想を練り、美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	B 単元　製図（明度表制作） 【知識及び技能】 色彩について基礎的な知識を学ぶ。正確な製図を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、制作意図に合った表現方法の創意工夫、正確に表現を構想するのに必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項　　絵画・明度を中心に色の性質と製図を学ぶ。　鉛筆素描の基礎として八段階の明度表を制作する。 （丁寧で正確な作図） ・教材　画用紙、定規、等	○	○		○	【知識・技能】 色の性質の理解。基礎的な正しい図形の描き方。 【思考・判断・表現】 明度表現の意図を理解し、簡単に効率よく美しい図形の描き方を創造的に発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	C 単元　絵画・素描 【知識及び技能】 形体、構図、明暗について理解し、空間を捉え立体的に表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項・絵画（素描・鉛筆デッサン） ・教材等　石膏模型（立方体、円柱）、画用紙、練り消し、等	○	○		○	【知識・技能】 空間を構成する形体、構図、明暗など素描の要素を理解し、主題に合った表現方法を工夫しながら個性豊かで創造的に表現している。 【思考・判断・表現】 質感、空間表現の意図を理解し、鉛筆素描の特徴的で有効な描き方を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画、素描の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	D 単元　印象派を中心に表現とは何かを考える。 【知識及び技能】 美術とは何か、美術作品の評価基準とは、時代の移り変わりの中でこれからの美術の役割などを、学びの意味について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、自己の意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む態度を身に付け、表現と鑑賞を一体に取り扱いねらいや意図を理解し感受性を高める。	・指導事項　芸術とは（クールベ・レアリスム宣言以降の美術史） ・教材等　原稿用紙、等	○	○	○	○	【知識・技能】 芸術の価値、美術作品の評価など対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を創造的に発想し構想を練り、美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術の幅広い創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
2学期	E 単元　立体的に見える模様を描く 【知識及び技能】 形体、構図、明暗について理解し、空間を捉え立体的に表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の効果を考え構想を練り、主体的に作品制作に取り組む態度を身に付け、表現と鑑賞を一体的に捉え制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項・絵画（空想イラスト） ・教材等　　水性ゲルボールペン、ケント紙、等	○	○		○	【知識・技能】 形体、構図、明暗について理解する。 【思考・判断・表現】 質感、空間表現の意図を理解し、鉛筆素描の特徴的で有効な描き方を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画、素描の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	F 単元　物を見て描く、想定して描く、組み合わせて描く 【知識及び技能】 素描の経験を生かし、形体、構図、明暗についてより理解を深め、空間を捉え立体的に表現しながら、模様と組み合わせ画面全体をまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 画面を作りまとめる為に、感性や想像力を働かせて、意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、丁寧な表現方法に努める。　　【学びに向かう力、人間性等】 表現の効果を考え構想を練り、主体的に作品制作に取り組む態度を身に付ける。表現と鑑賞を一体的に捉え、ねらいや作画意図を理解し感受性を高める。	・指導事項・絵画（静物画）（自画像） ・教材等　水性ゲルボールペン0.5黒、ケント紙、モチーフ、鏡　等	○	○		○	【知識・技能】 形体、構図、明暗について理解するとともに、画面全体の空間を意識して細部まで丁寧な作画に努める。 【思考・判断・表現】 質感、空間表現を理解し、ペン画に有効な描写を発想し構想を練り精密に作画する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画制作の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	20

3学期	G単元　切り絵（切り絵の練習・立体切り絵） 【知識及び技能】 切り絵の基本的な表現技法を学び、絵画としての構図、構成を理解する。道具、素材など正しく安全な使い方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 切り絵の特徴を引き出す表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む態度を身に付け、表現と鑑賞を一体的に捉え、ねらいや制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項・デザイン・クラフト（立体切り絵） ・教材等　カラーケント紙、カッター、マット、等	○	○		○	【知識・技能】 切り絵の基本的な表現方法ついて理解する。 【思考・判断・表現】 絵画として、空間、構図、量感などの意図を理解し、切り絵の有効的な表現方法を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画、切り絵制作の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	H単元　これからの美術 【知識及び技能】 美術史を振り返り、映像メディア表現なども含めた幅広いこれからの美術について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の効果を考え構想を練り、主体的に作品制作に取り組む態度を身に付け、表現と鑑賞を一体的に捉え、作画意図を理解し感受性を高める。	・指導事項・　これからの美術について考える。 ・原稿用紙、等	○	○	○	○	【知識・技能】 芸術の価値、美術作品の評価など対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を創造的に発想し構想を練り、　美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術の幅広い創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2 合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　　芸術　　科目 書道Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　3 組～　5 組

教科担当者：加藤　香蓮

使用教科書：（ 書道Ⅰ 光村図書 ）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現方法や形式、古典を理解できている。 書を構成するさまざまな要素、表現効果などを理解し ている。	書の構成する要素や表現性、表現効果や風趣の視点を持って作品制作に取り組んでいる。 書の美やよさを味わって表現している。	多様な観点を持って主体的に書の表現や鑑賞の活動に 取り組んでいる。 書活動に興味を持ち、主体的に取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	1. 書写から書道へ 自分の名前を書く	・書写と書道の違いを理解する ・用具用材の種類や性能を理解する ・さまざまな表現の仕方を理解する	○	○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント	○	○	○	2
	2. 漢字の学習 楷書の学習 「孔子廟堂碑」 「九成宮醴泉銘」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」 「鄭義下碑」 「牛橛造像記」	・漢字の成立と変遷について理解する ・古典の意義、臨書の意味や方法を理解する ・楷書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などに注意して臨書をする ・タブレットを使用し、お手本の動画を見て書き方・書き順を理解する		○		○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 小テストの姿勢 作品	○	○	○	12
	行書の学習 「蘭亭序」 「風信帖」	・行書の成立と変遷について理解する ・古典の意義、臨書の意味や方法を理解する ・行書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などに注意して臨書をする ・書聖　王羲之の書風や人格を理解する ・タブレットを使用し、お手本の動画を見て書き方・書き順を理解する		○		○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 小テスト 作品	○	○	○	8
	１学期のまとめ ・１学期　総集編授業内テスト ・好きな古典を半切1/2に書く	・１学期に学んだことをまとめ、授業内テストを実施する ・１学期で学んだ古典から好きな古典を選択し、半切1/2の大きさに書く		○		○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 テスト 作品	○	○	○	4
2学期	草書の学習 「真草千字文」 隷書の学習 「曹全碑」	・草書、隷書の成立と変遷について理解する ・古典の意義、臨書の意味や方法を理解する ・草書、隷書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などに注意して臨書をする ・タブレットを使用し、お手本の動画を見て書き方・書き順を理解する		○		○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 小テスト 作品	○	○	○	12
	篆書の学習 篆刻の制作	・篆書の成立と変遷について理解する ・古典の意義、臨書の意味や方法を理解する ・篆書の古典の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などに注意して臨書をする ・篆刻の歴史や押印の方法を理解する ・刻字の刀法を身につけ、表現を工夫して作品制作に取り組む ・タブレットを使用し、お手本の動画を見て書き方・書き順を理解する		○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 小テスト 作品	○	○	○	16

3学期	3. 仮名の学習 「いろは歌」 「高野切第三種」 「蓬莱切」	・仮名の特徴や成立について理解する。 ・仮名の基本的な線・運筆を身につける ・平安時代の古典を学習し、美や用筆を身につける			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 小テスト 作品	○	○	○	10
	4. 漢字仮名交じりの学習 生活の書	・実用的な表現について基礎・基本的な事項を理解し、用途に即した　表現を工夫する ・生活の中にある書を鑑賞することの意義を理解する ・これまでに学習した漢字・仮名を踏まえて好きな言葉を書き、それぞれの表現の仕方や美しさを味わう	○	○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 作品	○	○	○	6 合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　　芸術　　科目 工芸Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：工芸Ⅰ　　単位数：　　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　４組

教科担当者：（1・2組：大西　）（3・4組：大西　）

使用教科書：（工芸Ⅰ（日本文教出版）　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。

科目　工芸Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識を持って工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身についている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			身	社						
1学期	A表現 【知識及び技能】ペーパークラフトBOXの造形の要素を働きを理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】紙という素材や自己の想いなどから心豊かな発想ができる 【学びに向かう力、人間性等】主体的に身近な生活の中で使われる箱と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等 １．ペーパークラフトBOX	○		○	【知・技】造形の要素の働きを理解している 【思】自然や素材、自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	4
	A表現 【知識及び技能】ペーパーナイフを意図に応じで制作方法を創意工夫し、造形的に表すことができる 【思考力、判断力、表現力等】用途と美しさの調和を考え、ペーパーナイフの表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている 【学びに向かう力、人間性等】主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとすることができる。	２．クラフトロイドペーパーナイフ	○		○	【知・技】ペーパーナイフを意図に応じで制作方法を創意工夫し、造形的に表すことができる 【思】用途と美しさの調和を考え、ペーパーナイフの表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている 【態】主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	18
2学期	A表現 【知識及び技能】グラスリッツェン制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思考力、判断力、表現力等】ガラスという素材や自己の思いなどから心豊かな発想をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】	３．グラスリッツェン	○		○	【知・技】グラスリッツェン制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思】ガラスという素材や自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	A表現 【知識及び技能】革クラフトの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思考力、判断力、表現力等】革という素材や自己の思いなどから心豊かな発想ができる 【学びに向かう力、人間性等】主体的に身近な生活と革クラフトの表現の創造活動に取り組もうとしている	４．革クラフト（牛革） ICカード入れ コースター	○	○	○	【知・技】革クラフトの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思】革という素材や自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】主体的に身近な生活と革クラフトの表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	18
3学期	A表現 【知識及び技能】絞り染めと型染めの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思考力、判断力、表現力等】布という素材や染色の特性などから、自己の思いなどから心豊かな発想をできる 【学びに向かう力、人間性等】主体的に身近な生活と染色工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている	５、染色（トートバッグ） 絞り染め、型染め	○		○	【知・技】絞り染めと型染めの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思】布という素材や染色の特性などから、自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】主体的に身近な生活と染色工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	16
										合計
										70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１年次用） 教科　外国語　科目 英語コミュニケーションⅠ

教　科：外国語　　科　目：英語コミュニケーションⅠ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（　応用：冨樫　）（　標準：樋口　）（　基礎：長澤　）

使用教科書：（ Power On English communication Ⅰ　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。
外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的は話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手や、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理に注意して話して伝え合ったりすることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	Lesson 1 Japan’s New Tourism Zoom in with コーパス1 【知識及び技能】 ［知識］動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］過去と現在の日本の観光の状況について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分の住んでいる地域の魅力について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 過去と現在の日本の観光の状況にについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の住んでいる地域の魅力について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 過去と現在の日本の観光の状況について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分の住んでいる地域の魅力について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	［題材内容］ 外国からの観光客に人気の体験型ツーリズムを紹介するALTの話 ［言語材料］ 動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形 ［言語の働き］ 質問する，説明する，発表する ・デジタル教科書の活用 ・一人１台端末の活用	○	○	○	○		**【知識】**動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 **【技能】**動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，日本の観光について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 **【思考・判断・表現】** 過去と現在の日本の観光の状況について知り，情報や自分の考えをまとめるために，日本の観光について書かれた文章から，必要な情報を読み取り，書き手の意図，概要や要点を把握している。 **【主体的に学習に取り組む態度】** 過去と現在の日本の観光の状況について知り，情報や自分の考えをまとめるために，日本の観光について書かれた文章から，必要な情報を読み取ろうとしたり，書き手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。	○	○	○	7

1学期	Lesson 2 Light from Creatures Sounds Interesting 1 【知識及び技能】 ［知識］受け身，現在完了形，現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］　光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，受け身，現在完了形，現在完了進行形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，光る生き物について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，光る生き物について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，光る生き物について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	［題材内容］ 生き物が光る理由や，その光が医療研究に利用されていることに関する生徒による発表。 音節を理解する ［言語材料］ 受け身，現在完了形，現在完了進行形 ［言語の働き］ 質問する，説明する，理由を述べる，発表する ・デジタル教科書の活用 ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○	［知識］受け身，現在完了形，現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］受け身，現在完了形，現在完了進行形などの理解を基に，光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 光る生き物について知り，情報や自分の考えをまとめるために，生き物が光る理由や，その光が医療研究に利用されていることについて，必要な情報を読み取り，書き手の意図，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 光る生き物について知り，情報や自分の考えをまとめるために，生き物が光る理由や，その光が医療研究に利用されていることについて，必要な情報を読み取ろうとしたり，書き手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。	○	○	○	7
	1学期中間考査								○	○		1

	Lesson 3 Routes to the Top 知識］動名詞，不定詞，S＋V＋O［that節］を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］野口選手や好きなスポーツ選手について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，自分や友達の好きなスポーツ選手について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 野口選手や好きなスポーツ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分や友達の好きなスポーツ選手について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 野口選手や好きなスポーツ選手について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，自分や友達の好きなスポーツ選手について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	［題材内容］ スポーツクライマーである野口選手のインタビュー ［言語材料］ 動名詞，不定詞，S＋V＋O［that節］ ［言語の働き］ 質問する，説明する，理由を述べる，助言する，紹介する，発表する	○	○	○	○	○	［知識］動名詞，不定詞，S＋V＋O［that節］を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］動名詞，不定詞，S＋V＋O［that節］などの理解を基に，スポーツクライマーである野口啓代選手のインタビューの内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 スポーツ選手について説明をするために，スポーツクライマーである野口啓代選手のインタビュー内容の文章から，必要な情報を読み取り，書き手の意図，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツ選手について説明をするために，スポーツクライマーである野口啓代選手のインタビュー内容の文章から，必要な情報を読み取ろうとしたり，書き手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。	○	○	○	7

	Lesson 4 Left to Right, Right? Zoom in with コーパス2 ［知識］後置修飾の現在分詞，後置修飾 の過去分詞，比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］日本や海外のマンガの形式やその翻訳について，動詞の現在形・過去形，進行形，助動詞＋動詞の原形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，日本のマンガやその形式について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 日本や海外のマンガの形式やその翻訳について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，日本のマンガやその形式について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本や海外のマンガの形式やその翻訳について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，日本のマンガやその形式について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	［題材内容］ 日本のマンガの形式やその翻訳に関する留学生による発表 ［言語材料］ 後置修飾の現在分詞，後置修飾の過去分詞，比較級・最上級 ［言語の働き］ 質問する，助言する，説明する，賛成する，理由を述べる ［学習内容］ getを使いこなす ・デジタル教科書の活用 ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○		○	○	○	7
	1学期期末考査											1
	Lesson 5 Banana Paper Zoom in with コーパス3 【知識及び技能】 ［知識］関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S＋seem＋to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］バナナやバナナペーパー，バナナペーパープロジェクトについて，関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S＋seem＋to不定詞などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	［題材内容］ ザンビアのバナナの茎から作られるバナナペーパーへの日本の伝統技術貢献に関する講義 ［言語材料］ 関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S＋seem＋to不定詞 ［言語の働き］ 質問する，説明する，理由を述べる，誘う ［学習内容］ 話しことばと関係代名詞(1) ・デジタル教科書の活用 ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○	［知識］関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S＋seem＋to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］関係代名詞（主格），関係代名詞（目的格），S＋seem＋to不定詞などの理解を基に，バナナやバナナペーパープロジェクトによる村の人々の暮らしの変化について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 バナナペーパープロジェクトについて知り，情報や自分の考えをまとめるために，バナナやバナナペーパーについて書かれた文章から，必要な情報を読み取り，書き手の意図，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 バナナペーパープロジェクトについて知り，情報や自分の考えをまとめるために，バナナやバナナペーパーについて書かれた文章から，必要な情報を読み取ろうとしたり，書き手の意図，概要や要点を把握しようとしている。	○	○	○	7

	【思考力、判断力、表現力等】 バナナやバナナペーパー，バナナペーパープロジェクトについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。　【学びに向かう力、人間性等】 バナナやバナナペーパー，バナナペーパープロジェクトについて，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。											
	Lesson 6 Patterns in Human Behavior Sounds Interesting 3 【知識及び技能】 ［知識］It＋be動詞＋形容詞＋that節，S＋V［be動詞以外＋C］，S＋V＋O＋C［形容詞］を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］人間行動に関する心理学実践の手順や結果について，It＋be動詞＋形容詞＋that節，S＋V［be動詞以外＋C］，S＋V＋O＋C［形容詞］などの理解を元に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	［題材内容］ 人間の興味深い行動パターンに関する実験の手順や結果を解説する雑誌記事 ［言語材料］ It＋be動詞＋形容詞＋that節，S＋V［be動詞以外＋C］，S＋V＋O＋C［形容詞］ ［言語の働き］ 質問する，説明する，発表する，提案する ［学習内容］ 文の強勢（文末の内容語） ・デジタル教科書の活用 ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○	［知識］　It＋be動詞＋形容詞＋that節，S＋V［be動詞以外］＋C，S＋V＋O＋C［形容詞］を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］　It＋be動詞＋形容詞＋that節，S＋V［be動詞以外］＋C，S＋V＋O＋C［形容詞］などの理解を基に，人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について書かれた雑誌記事の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 人間の行動について知り，情報や自分の考えをまとめるために，人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について書かれた雑誌記事の内容から，必要な情報を読み取り，書き手の意図，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間の行動について知り，情報や自分の考えをまとめるために，人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について書かれた雑誌記事の内容から，必要な情報を読み取ろうとしたり，書き手の意図，概要や要点を把握しようとしている。	○	○	○	7
2学期	【学びに向かう力、人間性等】 人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。											
	2学期中間考査											1

	Lesson 7 No Plastic or No Future Sounds Interesting 4 【知識及び技能】 ［知識］関係副詞where，関係副詞when，関係代名詞whatを用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］プラスチックごみによる海洋汚染について，動詞の関係副詞where，関係副詞when，関係代名詞what などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックごみによる海洋汚染について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	［題材内容］ プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文 ［言語材料］ 関係副詞where，関係副詞when，関係代名詞what ［言語の働き］ 質問する，理由を述べる，描写する，説明する，発表する，報告する ［学習内容］ 音のつながり（同じ子音が連続する場合） ・デジタル教科書の活用 ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○	［知識］関係副詞where，関係副詞when，関係代名詞what を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］関係副詞where，関係副詞when，関係代名詞whatなどの理解を基に，プラスチックごみによる海洋汚染について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 プラスチックごみについて知り，情報や自分の考えをまとめるために，プラスチックごみによる海洋汚染について書かれた文章から，必要な情報を読み取り，書き手の意図，概要や要点を把握している 【主体的に学習に取り組む態度】 プラスチックごみについて知り，情報や自分の考えをまとめるために，プラスチックごみによる海洋汚染について書かれた文章から，必要な情報を読み取ろうとしたり，書き手の意図，概要や要点を把握しようとしている。	○	○	○	7	
	【学びに向かう力、人間性等】 プラスチックごみによる海洋汚染について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。												

	Lesson 8 Oh My Cod! Zoom in with コーパス4 【知識及び技能】 ［知識］現在分詞の分詞構文，関係代名詞の非制限用法，過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］食料資源，フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について，現在分詞の分詞構文，関係代名詞の非制限用法，過去完了形などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，食べ物やマグロ漁獲量の現状について，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 食料資源，フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，食べ物やマグロ漁獲量の現状について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 食料資源，フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，食べ物やマグロ漁獲量の現状について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	［題材内容］ イギリス人ALTによるフィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料資源に関する発表 ［言語材料］ 現在分詞の分詞構文，関係代名詞の非制限用法，過去完了形 ［言語の働き］ 質問する，説明する，報告する，発表する ・デジタル教科書の活用 ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○	［知識］現在分詞の分詞構文，関係代名詞の非制限用法，過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］現在分詞の分詞構文，関係代名詞の非制限用法，過去完了形などの理解を基に，フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 フィッシュ・アンド・チップスについて知り，情報や自分の考えをまとめるために，フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について書かれた文章から，必要な情報を読み取り，書き手の意図，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 フィッシュ・アンド・チップスについて知り，情報や自分の考えをまとめるために，フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について書かれた文章から，必要な情報を読み取ろうとしたり，書き手の意図，概要や要点を把握しようとしている。	○	○	○	7	
	2学期期末考査											1	

3学期	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport? 【知識及び技能】 ［知識］S+V［知覚］+O+C［現在分詞，原形不定詞］，S+V［使役］+O+C［原形不定詞］，S+V+O_1+O_2［ if などの節］を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］ e スポーツの現状，利点や欠点について，S+V［知覚］+O+C［現在分詞，原形不定詞］，S+V［使役］+O+C［原形不定詞］，S+V+O_1+O_2［ if などの節］などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，eスポーツやeスポーツの利点について，基本的な語句や文を用いて，自分の考えや意見などを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 e スポーツの現状，利点や欠点について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，eスポーツやeスポーツの利点について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 e スポーツの現状，利点や欠点について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，e スポーツやeスポーツの利点について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	［題材内容］ 世界中の若者の間で人気が出てきているeスポーツの実況中継 ［言語材料］ S+V［知覚］+O+［現在分詞，原形不定詞］，S+V［使役］+O+C［原形不定詞］，S+V+O_1+O_2［ if などの節］ ［言語の働き］ 質問する，理由を述べる，意見を言う，説得する，発表する ・デジタル教科書の活用 ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○	［知識］S+V［知覚］+O+C［現在分詞，原形不定詞］，S+V［使役］+O+C［原形不定詞］，S+V+O_1+O_2［ if などの節］を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］S+V［知覚］+O+C［現在分詞，原形不定詞］，S+V［使役］+O+C［原形不定詞］，S+V+O_1+O_2［ if などの節］などの理解を基に，e スポーツの現状，利点や欠点などについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 スポーツの利点や欠点についての他者の意見を知り，自分の考えをまとめて伝えるために，e スポーツの現状，利点や欠点などについて書かれた文章から，必要な情報を読み取り，書き手の意図，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの利点や欠点についての他者の意見を知り，自分の考えをまとめて伝えるために，e スポーツの現状，利点や欠点などについて書かれた文章から，必要な情報を読み取ろうとしたり，書き手の意図，概要や要点を把握しようとしている。	○	○	○	7	

	Lesson 10 Being Different Is Beautiful Optional Reading THANK YOU, ICHIRO 【知識及び技能】 ［知識］wish＋仮定法過去の節，仮定法過去のas if節，仮定法過去のif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］写真家ヨシダナギさんの経験，過去と現在について，wish＋仮定法過去の節，仮定法過去のas if節，仮定法過去のif節などの理解を基に，必要な情報や話し手・書き手の意図，概要や要点を目的に応じて捉えたり，ヨシダナギさんについて，基本的な語句や文を用いて，情報や自分の感想を加えながら，論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 写真家ヨシダナギさんの経験，過去と現在について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉え，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ヨシダナギさんについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 写真家ヨシダナギさんの経験，過去と現在について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ヨシダナギさんについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	［題材内容］ 写真家ヨシダナギさんに関する雑誌記事 ［言語材料］ wish＋仮定法過去の節，仮定法過去のas if節，仮定法過去のif節 ［言語の働き］ 説明する，仮定する，意見を言う，発表する，報告する ・デジタル教科書の活用 ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○	［知識］wish＋仮定法過去の節，仮定法過去のas if節，仮定法過去のif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ［技能］wish＋仮定法過去の節，仮定法過去のas if節，仮定法過去のif節などの理解を基に，写真家ヨシダナギさんの過去と現在について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 写真家ヨシダナギさんについて知り，情報や自分の考えをまとめるために，ヨシダナギさんの過去と現在について書かれた文章から，必要な情報を読み取り，書き手の意図，概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 写真家ヨシダナギさんの経験，過去と現在について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点を捉えようとしたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ヨシダナギさんについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	7 合計75	
	学年末考査											1	

年間授業計画

高等学校 令和７年度（１年次用） 教科　外国語　科目 論理・表現Ⅰ

教　科：外国語　　科　目：論理・表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（　応用：長澤　）（　標準：冨樫　）（　基礎：村上　）

使用教科書：（ MY WAY Logic and Expression Ⅰ　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的は話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目　論理・表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の語彙、文法やその活用や働きについて理解している。 外国語についての語彙、文法、活用や働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことにおいて、目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	目的や場面、状況に応じて，外国語で情報や考えなどの概要や要点を伝えたり、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切にコミュニケーションを取っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Lesson1 Part1 演習を交えつつ、文法事項では動詞の現在形を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、様々な場面での活用方法を理解する。	・MY WAY Logic and Expression Ⅰ ・MY WAY Logic and Expression Ⅰサブノート ・MY WAY Logic and Expression Ⅰ WORKBOOK ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文の形・意味・用法を理解している。また、それらを活用して簡単な文で自らを表現する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 情報や自分の考えをまとめるために、英語で書かれた文章から、必要な情報を読み取り，書き手の意図、概要や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 基礎基本の文法を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、会話や英作文、プレゼンテーションなどの活動で自らの考えや意見を表現できるようにする。	○	○	○	4
	Lesson2 演習を交えつつ、文法事項にでは過去形や現在進行形、過去進行形を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にし、会話や英作文等で自らの考えや意見を表現できるようにする。		○	○	○	○	○		○	○	○	5
	定期考査								○	○		1
	Lesson3 演習を交えつつ、文法事項では未来表現を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、様々な場面での活用方法を理解する。		○	○	○	○	○		○	○	○	5
	Lesson4 演習を交えつつ、文法事項にでは現在完了形を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にし、会話や英作文等で自らの考えや意見を表現できるようにする。		○	○	○	○	○		○	○	○	5
	定期考査								○	○		1
2学期	Lesson5 演習を交えつつ、文法事項では動詞の助動詞と受動態を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、様々な場面での活用方法を理解する。	・MY WAY Logic and Expression Ⅰ ・MY WAY Logic and Expression Ⅰサブノート ・MY WAY Logic and Expression Ⅰ WORKBOOK ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○		○	○	○	6
	Lesson6 演習を交えつつ、文法事項にでは不定詞を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にし、会話や英作文等で自らの考えや意見を表現できるようにする。		○	○	○	○	○		○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
	Lesson7 演習を交えつつ、文法事項では動名詞、分詞の後置修飾、分詞構文を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にしつつ、様々な場面での活用方法を理解する。		○	○	○	○	○		○	○	○	6
	Lesson8 演習を交えつつ、文法事項にでは比較を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にし、会話や英作文等で自らの考えや意見を表現できるようにする。		○	○	○	○	○		○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
3学期	Lesson9 演習を交えつつ、文法事項にでは関係代名詞を身に付ける。ALTとの授業ではネイティブの発音や表現を参考にし、会話や英作文等で自らの考えや意見を表現できるようにする。	・MY WAY Logic and Expression Ⅰ ・MY WAY Logic and Expression Ⅰサブノート ・MY WAY Logic and Expression Ⅰ WORKBOOK ・一人１台端末の活用	○	○	○	○	○		○	○	○	6
	定期考査		○	○	○	○	○		○	○		1
												合計 54

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和７年度（１年次用）教科　家庭　科目 家庭基礎

教　科：　家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１ 年次　１ 組～　５ 組

教科担当者：（１組：郡司/大藏）（２組：郡司/大藏）（３組：郡司/大藏）（４組：郡司/大藏）（５組：郡司/大藏）

使用教科書：（「家基705家庭基礎　気づく力 築く未来」　）

教科　家庭　の目標：

【知識及び技能】　家族・家庭，衣食住，消費や環境など，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践，考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭・地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・各単元の内容を理解し、自立して生活するために必要な知識を取得できたか。 ・被服製作・調理実習などの作業工程を理解し、準備や後片付けも含めて、適切に実習を行うことができたか。	・少子高齢社会，男女共同参画社会などの社会状況を考えながら，自分の生活や将来について考えを深め，発表などを通じて考えを表現することができたか。 ・創意工夫を活かした作品づくりが出来たか。	・各単元での学習内容に対して、熱心に取り組み、実践できたか。 ・課題やレポートに熱心に取り組み、期限を守って提出できたか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　これからの人生について考えてみよう ・ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 ・自分の特徴や長所に気づき，人生を展望できるようにする。	・ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考える。 ・今の自分について自己分析を行い、未来予想図を描く。	【知識・技能】自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会や男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	4
	第2章　自分らしい生き方と家族 ・結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。	・「家族」の条件とは何か考える。 ・家族のライフイベントについて考える。 ・家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。	【知識・技能】 結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】 図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心をもとうとしている。	○	○	○	4
	第４章　高齢者とかかわる ・超高齢社会において、安心して健康に暮らすことができる社会を実現するために、今からできることは何かを考える。	・これまでの高齢者とのかかわりを振り返る。 ・高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。	【知識・技能】 高齢社会の現状や課題について情報収集、調査・研究をし、課題解決に向けて考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 高齢社会の課題やその解決に向けて、情報を収集・分析する課程において、課題の発見、解決の方向を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。	○	○	○	6
	第７章衣生活をつくる ・被服の表示にはどのような種類があるのか、なぜついているのかを理解し、購入から洗濯などの管理に役立てる。 ・被服製作を通して、被服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。	・被服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。 ・洋服と和服の違いを考える。 ・日常に使用できる小物を製作する。	【知識・技能】 材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができる。 【思考・判断・表現】 被服材料・被服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 基礎縫いの確認のための実習や、衣服調査などにおいて、積極的に取り組もうとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

夏休み	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動 ・生活の中で、よりよく暮らすための解決方法を考える。 ・ひとりで取り組むだけでなく、協働することの意義を知る。	・自らの生活を改めて見直し、解決することを検討する。 ・具体的な解決方法を探り、実際に改善する。	【知識・技能】 ・家族の生活時間や、食・衣・住に関すること、ボランティア活動など、自分で関心のあること、また生活から見えてくる課題を探すことができ、それに対する具体的な解決方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を見つけ、解決に向けて、意欲を持って取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 ・自身の活動についてレポートにまとめることができる。	○	○	○	
2学期	ホームプロジェクト発表 ・ホームプロジェクトの発表を通して、相互評価を行い、自らの生活をより良くするために必要なことを考える。	・ホームプロジェクトのレポートを発表用にまとめる。 ・ホームプロジェクトの発表を行う。 ・他人の発表をきいて、コメントも含めた評価をする。	【知識・技能】 ・自分の日常生活における課題を探すことができ、それに対する具体的な解決方法を考えることができる。 【思考・判断・表現】 ・自身の活動についてレポートにまとめ、発表することができる。 ・他人の発表を聞き評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を見つけ、解決に向けて、意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	4
	第６章 食生活をつくる ・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・健康で豊かな食生活を育むための気づきや工夫を理解する。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 ・衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。	・食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づく。 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。 ・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。	【知識・技能】 食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 【思考・判断・表現】 自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。 調理実習においては、積極的に参加し、取り組もうとしている。	○	○	○	12
	第３章　子どもとかかわる ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもは親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいのなかで発達していくことを理解する。 ・子どもを生み、育てる意義について理解する。 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	・子どもの発達について考える。 ・子どものからだの成長の様子を学ぶ。 ・子育て中の親とかかわることで、現代の親子にかかわる課題と、解決の方向性を探る。	【知識・技能】 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	○	○	○	6
	第８章 住生活をつくる ・ライフステージや住まう人の住欲求によって平面計画が変化することを理解する。 ・住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。 ・家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解する。	・ライフステージによる住まいの変化について考える。 ・快適な住まい方を考え、平面計画を立てる。 ・災害情報の入手方法、安全への備えとして必要なことを考える。 ・誰もが安全に住むための工夫を考える。	【知識・技能】 住まいの機能・役割、ライフステージや家族構成と住まいの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・安全な住まいづくりや、快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ、その課題解決のための方策を考えることができる。 ・暮らしやすい住まいについて、住空間だけでなく、周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的に取り組もうとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

3学期	第9章　消費行動を考える ・消費行動における意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 ・情報リテラシーを身につける大切さを理解する。 ・各種契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法について理解する。また、被害にあった場合の解決方法についても理解する。 ・日常生活の中で、持続可能な社会を目指した行動ができるようになる。	・主体的な消費行動について多角的に考える。 ・情報社会における生活情報について知り、その適切な活用方法について考える。 ・各種契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法による被害を未然に防ぎ、早期解決をする方法を考える。 ・持続可能な社会の実現に向けた消費行動について考える。	【知識・技能】 消費行動について、様々な情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 【思考・判断・表現】 多様化する販売方法や支払い方法について問題点や解決策を考え判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	6
	第10章　経済的に自立する ・家庭経済を国民経済・国際経済の関係性に気づく。 ・家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。 ・生活設計と関連させて、長期の経済設計の必要性について理解する。	・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ。 ・適切な家計管理について考える。 ・金融商品の特徴と選択基準を学ぶ。	【知識・技能】 家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 【思考・判断・表現】 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて適切な考えを持ち、判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和７年度（１年次用）教科　総合的な探究の時間　科目　総合的な探究の時間

教　科：　総合的な探究の時間　　科　目：　総合的な探究の時間　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　１ 年次　１ 組～　５ 組

教科担当者：（　１組：中林　）（　２組：池田　）（　３組：中村　）（　４組：佐藤　）（　５組：谷川　）

使用教科書：（ 人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」（東京都教育委員会）　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】国際理解、現代社会の課題、進路決定に関わる知識

【思考力、判断力、表現力等】自己理解、自己表現、社会問題解決力

【学びに向かう力、人間性等】社会に生かされる学問探求、社会性

科目　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
国際理解教育により、世界で何が起きているのかを知る。ワークブックの取り組みや調べ学習により、現代社会の課題の知識を得る。自己の進路実現に関わる知識を得る。	課題等を通して自己理解を深め、調べ学習や発表により自己表現力を高める。様々な社会問題について自己の意見を持ち、表現できるようになる。	社会に生かされる学問に興味を持ち、主体的に学ぶ姿勢を持つ。自分が好きな分野を見つけ、探求する姿勢を持つ。調べ学習やグループ活動を通して、他者を認めつつ、自分の意見も述べられる力をつける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容				ワークブック	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 【知識及び技能】進路に関する基礎知識を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】　自分の興味関心について考える。 【学びに向かう力、人間性等】自己を肯定的にとらえる。	・指導事項　ワークブック、教科書の利用 ・教材　進路探究ワーク				○	毎回のワークブックの取り組み、ワークシートの取り組み、発表	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】国際理解教育、学ぶことの意義を知る。「かかわり方の切り口」へのアプローチ 【思考力、判断力、表現力等】　自分史に取り組む。関心分野に関係する学問・職業を調べ考える。 【学びに向かう力、人間性等】自己を正しく理解する。	・指導事項　講師による指導等 ・教材　進路探求ワーク				○	毎回のワークブックの取り組み、ワークシートの取り組み、発表	○	○	○	8
2学期	C 単元 【知識及び技能】文理選択に関する基礎知識を身に着ける。生活と社会問題についての知識を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】　自分と社会のかかわり方について考える。自己表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】自己	・指導事項　情報取集・調査 ・教材　進路探求ワーク				○	毎回のワークブックの取り組み、ワークシートの取り組み、発表	○	○	○	6
	D 単元 【知識及び技能】労働に関する基礎知識を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】　働くことの意義ついて考え、自分の意見を発表する。 【学びに向かう力、人間性等】調べ学習を通した協働作業を通した他者・自己理解。「働くこと」を考える	・指導事項　情報取集・調査、キャリアガイダンス、分野別進路ガイダンス ・教材　進路探求ワーク				○	毎回のワークブックの取り組み、ワークシートの取り組み、発表	○	○	○	7
3学期	E 単元 【知識及び技能】学部学科に関する基礎知識を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】　自分の興味関心分野について考える。 【学びに向かう力、人間性等】自己理解、他者との協働を学ぶ。	・指導事項　　進路後援会等 ・教材　進路探求ワーク				○	毎回のワークブックの取り組み、ワークシートの取り組み、発表	○	○	○	4
	E 単元 【知識及び技能】進路に関する基礎知識を身に着ける。SDGs 【思考力、判断力、表現力等】　自分の興味関心分野について考える。 【学びに向かう力、人間性等】現実と進路と向き合い、主体的に学ぶ姿勢を身に着ける。	・指導事項　　分野別ガイダンス等 ・教材　進路探求ワーク				○	毎回のワークブックの取り組み、ワークシートの取り組み、発表	○	○	○	4 合計 35